

HP OMi Management Pack for SAP Sybase ASE

ソフトウェアバージョン: 1.00

HP Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティング システム)

オンライン ヘルプの PDF 版

ドキュメントリリース日: 2015 年 1 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 9 月



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft グループの米国における登録商標です。

UNIX® は The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<https://softwaresupport.hp.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>

このサイトを利用するには、HP Passport のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、HP Passport のサインイン ページで **[アカウントを作成してください]** ボタンをクリックしてください。

サポート

次の HP ソフトウェアサポートの Web サイトを参照してください。<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェア サポート オンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、<https://softwaresupport.hp.com> にアクセスして **[Register]** をクリックしてください。

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions & Integrations and Best Practices

HP Software Solutions Now (<https://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>) を参照してください。このサイトでは、HP ソフトウェアのカタログに記載された製品の説明を確認したり、情報を交換したり、ビジネス ニーズを解決 することができます。

Cross Portfolio Best Practices Library (<https://hpln.hp.com/group/best-practices-hpsw>) からは、さまざまな ベスト プラクティス文書 や資料にアクセスすることができます。

目次

| | |
|---|----|
| 第1章: OMi Management Pack for SAP Sybase ASE | 7 |
| 第2章: 作業の開始 | 8 |
| BSM コンソールでの作業の開始 | 8 |
| タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加 | 8 |
| タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化 | 9 |
| タスク 3: SAP Sybase ASE 検出アスペクトのデプロイ | 9 |
| タスク 4: 検出の確認 | 11 |
| タスク 5: root 以外のユーザが実行する HP Operations Agent 向けの OMi MP for SAP Sybase ASE の設定 | 12 |
| タスク 6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ | 13 |
| タスク 6a: SAP Sybase ASE 管理テンプレートの特定とデプロイ | 13 |
| タスク 6b: SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ | 14 |
| タスク 7: OMi MP for SAP Sybase ASE デプロイメントの確認 | 16 |
| タスク 8: root 以外のエージェント ユーザ用の SAP Sybase ASE エラー ログ監視の設定 | 16 |
| SAP Sybase ASE 環境の監視 | 17 |
| OMi コンソールでの作業の開始 | 19 |
| タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加 | 19 |
| タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化 | 20 |
| タスク 3: SAP Sybase ASE 検出アスペクトのデプロイ | 21 |
| タスク 4: 検出の確認 | 22 |
| タスク 5: root 以外のユーザが実行する HP Operations Agent 向けに OMi MP for SAP Sybase ASE を設定する方法 | 23 |
| タスク 6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ | 24 |
| タスク 6a: SAP Sybase ASE 管理テンプレートの特定とデプロイ | 24 |
| タスク 6b: SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ | 25 |
| タスク 7: OMi MP for SAP Sybase ASE デプロイメントの確認 | 27 |
| タスク 8: root 以外のエージェント ユーザ用の SAP Sybase ASE エラー ログ監視の設定 | 27 |
| SAP Sybase ASE 環境の監視 | 28 |
| 第3章: コンポーネント | 31 |
| SAP Sybase ASE 管理テンプレート | 31 |
| 概要 | 31 |
| タスク | 32 |
| 基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート | 34 |
| ユーザインターフェイスの参照情報 | 35 |
| 基本管理テンプレート - アスペクト | 36 |
| 詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート | 43 |

| | |
|---|----|
| ユーザ インターフェイスの参照情報 | 44 |
| 詳細管理 テンプレート - アスペクト | 44 |
| SAP Sybase ASE アスペクト | 51 |
| タスク | 51 |
| アスペクト | 53 |
| ユーザ インターフェイスの参照情報 | 53 |
| SAP Sybase ASE アプリケーション パフォーマンス | 54 |
| SAP Sybase ASE 可用性 | 55 |
| SAP Sybase ASE ベース | 57 |
| SAP Sybase ASE キャッシュ パフォーマンス | 59 |
| SAP Sybase ASE CPU 使用率 | 60 |
| SAP Sybase ASE データベース領域 使用率 | 61 |
| SAP Sybase ASE デバイス パフォーマンス | 62 |
| SAP Sybase ASE 検出 | 63 |
| SAP Sybase ASE ディスク状況 | 63 |
| SAP Sybase ASE インデックス パフォーマンス | 65 |
| SAP Sybase ASE ロック パフォーマンス | 66 |
| SAP Sybase ASE メモリ パフォーマンス | 66 |
| SAP Sybase ASE ネットワーク パケット | 69 |
| SAP Sybase ASE オブジェクト パフォーマンス | 69 |
| SAP Sybase ASE 並列処理 | 70 |
| SAP Sybase ASE プロセス動作 | 71 |
| SAP Sybase ASE クエリ パフォーマンス | 72 |
| SAP Sybase ASE ユーザ定義 アスペクト | 73 |
| SAP Sybase Replication Server ベース | 73 |
| SAP Sybase Replication Server 可用性 | 74 |
| パラメータ | 76 |
| パラメータのタイプ | 76 |
| SAP Sybase ASE パラメータ | 76 |
| パラメータの調整 | 78 |
| 構成アイテム (CI) と構成アイテム タイプ (CIT) | 78 |
| ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー | 79 |
| 状況 インジケータ (HI) | 80 |
| イベント タイプ インジケータ (ETI) | 82 |
| ツール | 86 |
| ツールのタイプ | 86 |
| ツール カテゴリ | 87 |
| グラフ テンプレート | 91 |
| 第5章: カスタマイズ シナリオ | 95 |

| | |
|---|-----|
| デプロイ前の SAP Sybase ASE 管理テンプレートのカスタマイズ | 95 |
| SAP Sybase ASE 管理テンプレートの作成 | 95 |
| SAP Sybase ASE 管理テンプレートの編集 | 97 |
| パラメータの編集 | 97 |
| アスペクトの編集 | 98 |
| ユーザ定義メトリック (UDM) | 99 |
| ConfigFile ポリシー テンプレートの構文 | 99 |
| タスク | 100 |
| 第6章: デプロイメント シナリオ | 105 |
| 標準環境での SAP Sybase ASE サーバ | 105 |
| レプリケーション サーバ環境での SAP Sybase | 106 |
| 第7章: トラブルシューティング | 107 |
| ライセンス数が更新されない | 107 |
| 管理テンプレートとアスペクトが管理対象ノードにデプロイされない | 108 |
| SAP Sybase ASE サーバの監視が、OMi MP for SAP Sybase ASE のデプロイの後に開 始されない | 108 |
| Performance Manager i (PMi) グラフまたはレポートにデータが表示されない | 109 |
| データログポリシーでデータをログ記録できない | 111 |
| デプロイの後にサーバのスケジュールメトリックを実行できない | 111 |
| サーバ上で収集が失敗してもアラートが生成されない | 112 |
| SAP Sybase Replication Server スレッド ステータス ツールのエラー | 114 |
| OMi MP for SAP Sybase ASE が 64 ビット版の Sybase と連携しない | 115 |
| 付録: メトリックとデータソース | 116 |
| 汎用データソース | 116 |
| グラフテンプレート | 116 |
| レポート | 116 |
| メトリック | 116 |
| ドキュメントのフィードバックを送信 | 121 |

第1章: OMi Management Pack for SAP Sybase ASE

HP OMi Management Pack for SAP Sybase ASE (OMi MP for SAP Sybase ASE) は HP Operations Manager i (OMi) とともに動作し、Business Service Management (BSM) を使用して SAP Sybase ASE (Adaptive Server Enterprise) サーバ環境およびその基になるインフラストラクチャの監視を可能にします。HP OMi Management Pack for SAP Sybase ASE は、SAP Sybase ASE サーバ内で発生するイベントを分析し、状況およびパフォーマンスのステータスをレポートする各種インジケータ (イベントタイプインジケータ (ETI)、状況インジケータ (HI)、および主要業績評価指標 (KPI)) を備えています。管理テンプレートは、SAP Sybase ASE サーバ、レプリケーションサーバ、バックアップサーバ、およびシステムインフラストラクチャを監視できる広範囲のアスペクトで構成されています。

これらの管理テンプレートは、環境内の SAP Sybase ASE サーバを監視する管理者によってシームレスにデプロイできます。領域専門家 (SME) と開発者は、SAP Sybase ASE 管理テンプレートを簡単にカスタマイズできます。

OMi MP for SAP Sybase ASE は OMi とともに動作し、以下の追加機能を提供して、統合監視ソリューションをサポートします。

- SAP Sybase ASE サーバインスタンスベースのデプロイとシンプルな構成
- SAP Sybase ASE サーバインスタンスのエージェントベースの監視のサポート

第2章: 作業の開始

この項では、OMi MP for SAP Sybase ASE を使用した SAP Sybase ASE サーバの監視に必要なタスクについて説明します。また、イベント パースペクティブ、状況 パースペクティブ、パフォーマンス パースペクティブを使用して、SAP Sybase ASE 構成アイテム (CI) のステータスと状況を分析することもできます。

BSM コンソールでの作業の開始の詳細については、「[BSM コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

OMi コンソールでの作業の開始の詳細については、「[OMi コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

BSM コンソールでの作業の開始

この項では、OMi MP for SAP Sybase ASE を使用した SAP Sybase ASE サーバの監視に必要なタスクについて説明します。また、イベント パースペクティブ、状況 パースペクティブ、パフォーマンス パースペクティブを使用して、SAP Sybase ASE 構成アイテム (CI) のステータスと状況を分析することもできます。

タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加


注: 監視対象の SAP Sybase ASE サーバがすでに Smart Plug-in (SPI) for Sybase Databases で監視されている場合は、まず、SAP Sybase ASE サーバをホストしている管理対象ノードから SPI アーティファクトとデータソースを削除します。

注: ランタイム サービス モデル (RTSM) にノードがすでに存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。

監視を始める前に、次の手順を実行し、BSM コンソールにノードを追加する必要があります。

1. [オペレーション管理の管理] ページから [モニタ対象ノード] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [セットアップ] > [モニタ対象ノード]


2. [ノード ビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、 をクリックしてから、[Computer] > [Windows] または [UNIX] をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ダイアログボックスが開きます。
3. [プライマリ DNS 名] を指定し、[IP アドレス] を確認します。
4. ノードの [オペレーティングシステム]、[プロセッサ アーキテクチャ] をドロップダウン リストから指定し、[OK] をクリックします。

新規に作成されたノードが CI インスタンスとして RTSM に保存されます。

注: Operations Agent が稼働するノードは、HP OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化

エンリッチメント ルールを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. [エンリッチメント マネージャ] を開きます。
[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ]
2. [エンリッチメント ルール] ペインで、リストから **[SoftwareElementDisplayLabelForNewHost]** を選択します。
3. 右クリックして **[プロパティ]** を選択します。[エンリッチメント ルールのプロパティ] ウィンドウが開きます。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. **[ルールを有効にする]** を選択します。
6. **[完了]** をクリックします。
7. [エンリッチメント ルール] ペインで、 をクリックして変更を保存します。

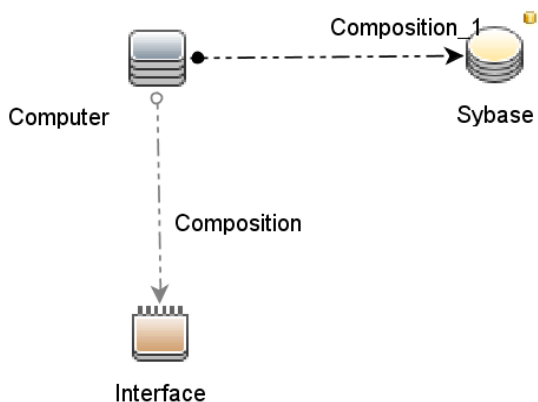
タスク 3: SAP Sybase ASE 検出アスペクトのデプロイ

注: SAP Sybase ASE CI が既に検出されている場合、このステップをスキップしてタスク 4 に進むことができます。

SAP Sybase ASE 検出アスペクトにより、環境内の SAP Sybase ASE Server インスタンスを検出できません。追加した管理対象ノード上の SAP Sybase ASE CI と SAP Sybase Replication Server CI の両方を検出するには、SAP Sybase ASE 検出アスペクトを Computer CI にデプロイする必要があります。

SAP Sybase ASE 検出アスペクトのデプロイメントにより、次の CI タイプ (CIT) の構成アイテム (CI) が検出されます。

- Sybase (SAP Sybase ASE サーバと SAP Sybase Replication Server の両方が同じ CI で識別されます)
- Computer



SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイするには、次の手順を実行します。


1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト]

3. 次のいずれかの方法で、アスペクトの割り当てとデプロイを行います。[管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、次を選択します。

- [SAP Sybase ASE 検出] アスペクトを選択し、 をクリックします。
- [SAP Sybase ASE 検出] アスペクトを右クリックし、[項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。

[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。

4. [構成アイテム] タブで、必要な管理対象ノード CI を選択し、[次へ] をクリックします。
5. (オプション) [必要なパラメータ] タブで [次へ] をクリックします。

注: SAP Sybase ASE 検出アスペクトには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション) [すべてのパラメータ] タブで [次へ] をクリックします。

注: SAP Sybase ASE 検出アスペクトにはパラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てに使用できるパラメータはありません。」

7. (オプション) 割り当てを直ちに有効化しない場合は、[割り当てオブジェクトの有効化] チェックボックス

スを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。

8. **[完了]** をクリックします。

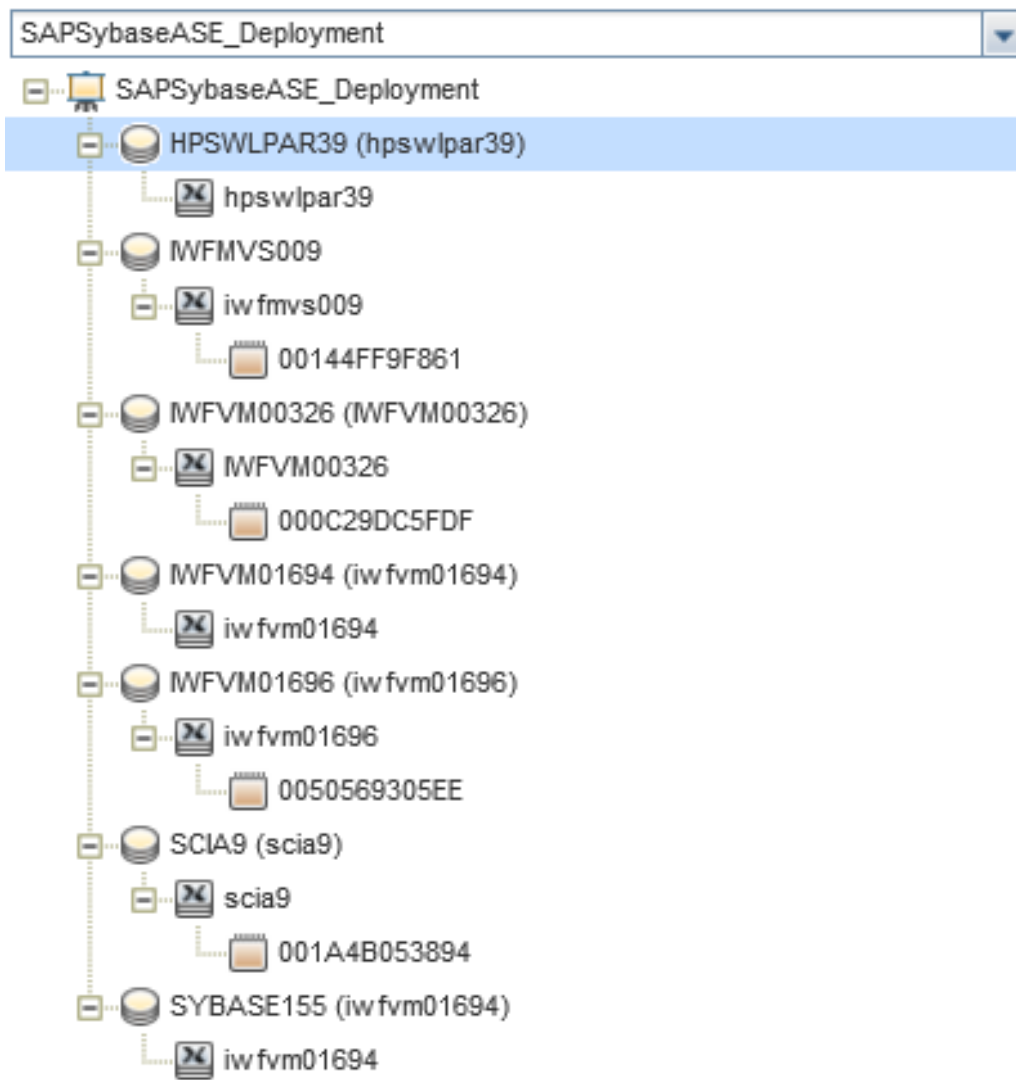
注: SAP Sybase ASE アスペクトがデプロイされると、次のメッセージが表示されます。「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[デプロイメント ジョブ]** を選択します。

タスク 4: 検出の確認

SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイした後、[View Explorer] に CI が表示されていることを確認できます。

検出された CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. **[アプリケーション]** > **[Operations Manager]** > **[Event Perspective]** をクリックします。
2. **[ビューの参照]** タブで **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。以下の図が表示されます。



タスク 5: root 以外のユーザが実行する HP Operations Agent 向けの OMi MP for SAP Sybase ASE の設定

root 以外のユーザで Operations Agent を実行する UNIX ノードでは、上記のタスクに加えて、次のタスクを実行する必要があります。

SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイした後に、次の手順を実行します。

1. root ユーザとして `/var/opt/OV/bin/instrumentation` で次のスクリプトを実行します。

```
# dbspisyb_perl dbspisyb_root.pl
```

`/var/opt/OV/conf/dbspisyb.su` が作成されます。

2. root ユーザで `dbspisyb.su` ファイルを開き、次の行のコメントを解除するか、次の形式で新しい行

を追加します。<ユーザ>:<コマンド>

```
root:<SYBINSTPATH>/startserver -f <SYBINSTPATH>/RUN_<SVRNAME>
```

ここで、<SYBINSTPATH> は SAP Sybase ASE のインストールパスです。

タスク 6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ

Monitoring Automation for Composite Applications ライセンスを使用している場合、管理テンプレートまたはアスペクトを SAP Sybase ASE CI にデプロイできます。管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 6a:SAP Sybase ASE 管理テンプレートの特定とデプロイ](#)」を、アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6b:SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Monitoring Automation for Server ライセンスを使用している場合、アスペクトをデプロイできます。アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6b:SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

必要なユーザ権限

SAP Sybase ASE サーバを監視するには、資格情報を持つユーザに次の権限を付与します。システム管理者 (sa)

タスク 6a: SAP Sybase ASE 管理テンプレートの特定とデプロイ

SAP Sybase ASE 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した SAP Sybase ASE 管理テンプレートを特定する必要があります。

- SAP Sybase ASE サーバで主要なパフォーマンスと可用性に関するメトリックを監視する場合は、[基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)をデプロイします。
- 主要なパフォーマンスと可用性とともに、ネットワークパケットや並列処理などの詳細機能を監視する場合は、[詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)をデプロイします。


SAP Sybase ASE 管理テンプレートを SAP Sybase ASE CI にデプロイするには、次の手順を実行します。





1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。


[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [管理テンプレート]

3. [SAP Sybase ASE 管理テンプレート] フォルダでデプロイする管理テンプレートをクリックし、 [項目の割り当てとデプロイ] を選択します。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。

4. **[構成アイテム]** タブで管理テンプレートを割り当てる CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、必要なパラメータの詳細を入力するには、次の手順を実行します。
 - a. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名]** パラメータを選択して、 をクリックします。
[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. **[値]** をクリックし、ユーザ名を入力します。**[OK]** をクリックします。
 - c. **[SAP Sybase ASE インスタンス パスワード]** パラメータを選択し、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス パスワード] ダイアログ ボックスが開きます。
 - d. **[値]** をクリックし、**[パスワード]** フィールドに値を入力します。
 - e. **[パスワードの確認]** フィールドに同じパスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。
 - f. **[次へ]** をクリックして **[すべてのパラメータ]** に進みます。
6. (オプション) **[すべてのパラメータ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
 - a. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して  をクリックします。[インスタンスパラメータの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. リストでパラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。**[値]** をクリックして値を指定し、**[OK]** をクリックします。

注: **[すべてのパラメータ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパートパラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパートパラメータを表示するには、 **[エキスパートパラメータの表示]** をクリックします。

注: 同じように、**[SAP Sybase ASE エラー ログの頻度]** パラメータも編集できます。

 - c. **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

タスク 6b: SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ

SAP Sybase ASE アスペクトを SAP Sybase ASE CI にデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート および アスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト]




3. [管理 テンプレート および アスペクト] フォルダでデプロイするアスペクトを選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。

または、デプロイする SAP Sybase ASE アスペクトを右クリックし、[項目の割り当てとデプロイ] をクリックして [割り当てとデプロイ] ウィザードを開きます。

4. [構成 アイテム] タブでアスペクトをデプロイする Sybase CI を選択し、[次へ] をクリックします。



注: アスペクトをノード CI にデプロイする場合は、[タイプ ノードの CI も表示する] チェックボックスを選択します。


5. [必要なパラメータ] タブで、次の手順を実行して必須パラメータを指定する必要があります。

- a. リストの [SAP Sybase ASE インスタンス名] パラメータを選択して、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス名] ダイアログボックスが開きます。
- b. 値を指定して、[OK] をクリックします。
- c. リストの [SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] パラメータを選択して、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] ダイアログボックスが開きます。
- d. 値を指定して、[OK] をクリックします。
- e. リストの [SAP Sybase ASE インスタンス パスワード] パラメータを選択し、 をクリックします。[SAP Sybase ASE パスワード] ダイアログボックスが開きます。
- f. [値] をクリックし、[パスワード] フィールドに値を入力します。
- g. [パスワードの確認] フィールドに同じパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- h. [次へ] をクリックして [すべてのパラメータ] に進みます。

6. (オプション) [すべてのパラメータ] タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。変更しない場合は、[次へ] をクリックします。

パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。

- a. **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して  をクリックします。[インスタンス パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
- b. リストでパラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。[値] をクリックして値を指定し、[OK] をクリックします。

注: [すべてのパラメータ] タブでは、パラメータのデフォルト 値を上書きできます。各パラメータの値は、管理 テンプレート レベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパート パラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパート パラメータを表示するには、 **[エキスパート パラメータの表示]** をクリックします。

注: 同じように、[SAP Sybase ASE エラー ログの頻度] パラメータも編集できます。

- c. **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェック ボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

タスク 7: OMi MP for SAP Sybase ASE デプロイメントの確認

管理対象ノードに OMi MP for SAP Sybase ASE がデプロイされているの確認するには、次の手順を実行します。

1. **[アプリケーション] > [オペレーション管理] > [View Explorer] > [ビューの参照]** をクリックします。
2. **[ビューの参照]** ペインでノードを右クリックし、**[ツールを起動]** をクリックします。[ツールの選択] ページが開きます。
3. **[SAP Sybase ASE Management Pack のデプロイメントの確認]** ツールを選択し、**[ツールの実行]** をクリックします。

タスク 8: root 以外のエージェント ユーザ用の SAP Sybase ASE エラーログ監視の設定

デフォルトで、root 以外のエージェント ユーザには、SAP Sybase ASE サーバのエラー ログファイルを読み取る権限がありません。エラー ログ ファイルを監視できるように読み取り権限を設定するには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、監視する SAP Sybase ASE サーバアラート ログを特定します。

```
/var/opt/OV/bin/instrumentation/dbspicas -l
```

エラー ログファイル名が表示されます。

2. 非 root ユーザにエラー ログ監視に対する読み取り権限を付与するには、Sybase ユーザとして次のコマンドを実行します。

```
chmod +r <Sybase-error-logfile>
```

SAP Sybase ASE 環境の監視

管理テンプレートとアスペクトをデプロイした後、次のパースペクティブから SAP Sybase ASE CI のステータスと状況を分析できます。

- [イベント パースペクティブ](#)
- [状況 パースペクティブ](#)
- [パフォーマンス パースペクティブ](#)

イベント パースペクティブ

SAP Sybase ASE 検出アスペクトおよび SAP Sybase ASE 管理テンプレートをデプロイした後で、OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE CI のイベントを表示できます。

SAP Sybase ASE CI のイベント パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。
[アプリケーション] > [オペレーション管理]
2. [オペレーション管理] ペインで [Event Perspective] タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. [View Explorer] で [ビューの参照] タブを選択します。
4. ドロップダウンメニューから **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブで SAP Sybase ASE サーバ CI を検索できます。

OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE Server CI のリストが表示されます。

5. イベント パースペクティブを表示する SAP Sybase ASE CI を選択します。選択した SAP Sybase ASE CI のイベントのリストが [Event Browser] ペインに表示されます。

[Event Browser] でイベントを選択すると、[イベント詳細] ペインが開き、次の内容が表示されます。

- **一般** - 重要度、ライフサイクル状態、優先度、関連 CI など、選択したイベントに関する詳細情報が表示されます。

- **追加情報**: 選択したイベントの属性に関する詳細情報が表示されます。
- **ソース情報**: 選択したイベントのソースに関する情報の概要が表示されます。
- **アクション**: 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。使用できるアクションには、ユーザアクションと自動アクションの2タイプがあります。
- **注釈**: 選択したイベントにアタッチされている注釈が表示されます。
- **カスタム属性**: 管理者または担当ユーザが手動で設定し、選択したイベントに追加した属性のリストが表示されます。
- **関連イベント**: イベント ブラウザで選択したイベントに関連するすべてのイベントが表示されます。
- **履歴**: 選択したイベントの履歴が表示されます。
- **解決ヒント**: イベントに関連付けられているノードとCIを特定する情報が表示されます。
- **説明**: 関連イベントの処理に役立つ情報が表示されます。
- **転送**: イベントの所有者に関する転送の詳細情報が表示されます。

状況パースペクティブ

SAP Sybase ASE 検出アスペクトおよび SAP Sybase ASE 管理テンプレートをデプロイした後で、OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE CI の状況に関連するイベントを表示できます。

SAP Sybase ASE CI の状況パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。
[アプリケーション] > [オペレーション管理]
2. [オペレーション管理] ペインで [Health Perspective] タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. [View Explorer] で [ビューの参照] タブを選択します。
4. ドロップダウンメニューから **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブで SAP Sybase ASE サーバCI を検索できます。

OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE サーバCI のリストが表示されます。

5. 状況パースペクティブを表示する SAP Sybase ASE CI を選択します。選択した SAP Sybase ASE CI の状況に関連するイベントのリストが [Event Browser] ペインに表示されます。

[Event Browser] ペインからイベントを選択すると、次のペインが表示されます。

- **Health Top View:** 選択したイベントのヘルストップビューが表示されます。
- **Health Indicators - [Health Top View]** ペインで選択した CI に関連する主要業績評価指標 (KPI) および HI が表示されます。
- **Actions:** 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。

パフォーマンス パースペクティブ

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフ テンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

グラフを使用して SAP Sybase ASE CI のパフォーマンス パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。
[アプリケーション] > [オペレーション管理]
2. [オペレーション管理] ウィンドウで、[Performance Perspective] タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. [ビューの参照] タブで **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブで SAP Sybase ASE サーバ CI を検索できます。

パフォーマンス ペインに、**SAPSybaseASE_Deployment** で使用できるデフォルトのグラフが表示されます。

4. [グラフ] タブから作成するグラフをクリックし、 [グラフの作成] をクリックします。右ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理、状況 パースペクティブ、パフォーマンス パースペクティブの詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

OMi コンソールでの作業の開始

この項では、OMi MP for SAP Sybase ASE を使用した SAP Sybase ASE サーバの監視に必要なタスクについて説明します。また、イベント パースペクティブ、状況 パースペクティブ、パフォーマンス パースペクティブを使用して、SAP Sybase ASE 構成アイテム (CI) のステータスと状況を分析することもできます。

タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加



注: 監視対象の SAP Sybase ASE サーバがすでに Smart Plug-in (SPI) for Sybase Databases で監視されている場合は、まず、SAP Sybase ASE サーバをホストしている管理対象ノードから SPI アーティファクトとデータソースを削除します。

注: ランタイム サービス モデル (RTSM) にノードがすでに存在する場合、このステップをスキップしてタスク2に進むことができます。

監視を始める前に、次の手順を実行し、OMi コンソールにノードを追加する必要があります。

1. [管理] から [モニタ対象ノード] マネージャを開きます。

[管理] > [セットアップと保守] > [モニタ対象ノード]

2. [ノード ビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、 をクリックしてから、[Computer] > [Windows] または [UNIX] をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ダイアログ ボックスが開きます。
3. ノードの [プライマリ DNS 名]、[IP アドレス]、[オペレーティングシステム]、[プロセッサアーキテクチャ]、およびノードの説明を指定します。リストにない IP アドレスを含めたい場合は、新しい IP アドレスを追加できます。
 - a. [IP アドレス] ツールバーで  をクリックします。[新しい IP アドレスの作成] ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. IP アドレスとルーティングドメインを入力します。
 - c. IP アドレスが DHCP サーバによって割り当てられている場合は、[DHCP] チェックボックスをクリックします。
 - d. [OK] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

新規に作成されたノードが CI インスタンスとして RTSM に保存されます。

注: Operations Agent が稼働するノードは、HP OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。


タスク2: エンリッチメント ルールの有効化

エンリッチメント ルールを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. [エンリッチメント マネージャ] を開きます。

[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ] をクリックします。

2. [エンリッチメント ルール] ペインで、リストから [SoftwareElementDisplayLabelForNewHost] を選択します。
3. 右クリックして [プロパティ] を選択します。[エンリッチメント ルールのプロパティ] ウィンドウが開きます。

4. **[次へ]**をクリックします。
5. **[ルールを有効にする]**を選択します。
6. **[完了]**をクリックします。
7. [エンリッチメント ルール] ペインで、をクリックして変更を保存します。

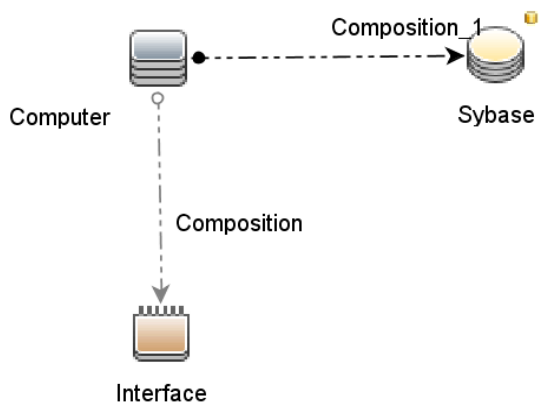
タスク3: SAP Sybase ASE 検出アスペクトのデプロイ

注: SAP Sybase ASE CI が既に検出されている場合、このステップをスキップしてタスク4に進むことができます。

SAP Sybase ASE 検出アスペクトにより、環境内の SAP Sybase ASE Server インスタンスを検出できます。追加した管理対象ノード上の SAP Sybase ASE CI と SAP Sybase Replication Server CI の両方を検出するには、SAP Sybase ASE 検出アスペクトを Computer CI にデプロイする必要があります。

SAP Sybase ASE 検出アスペクトのデプロイメントにより、次の CI タイプ (CIT) の構成アイテム (CI) が検出されます。

- Sybase (SAP Sybase ASE サーバと SAP Sybase Replication Server の両方が同じ CI で検出されます)
- Computer




SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイするには、次の手順を実行します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。
[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト]

3. 次のいずれかの方法で、アスペクトの割り当てとデプロイを行います。[管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、次を選択します。

- [SAP Sybase ASE 検出] アスペクトを選択し、 をクリックします。
- [SAP Sybase ASE 検出] アスペクトを右クリックし、[項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。

[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。

4. [構成アイテム] タブで、必要な管理対象ノード CI を選択し、[次へ] をクリックします。
5. (オプション) [必要なパラメータ] タブで [次へ] をクリックします。

注: SAP Sybase ASE 検出アスペクトには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション) [パラメータ サマリ] タブで [次へ] をクリックします。

注: SAP Sybase ASE 検出アスペクトにはパラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てに使用できるパラメータはありません。」

7. (オプション) 割り当てを直ちに有効化しない場合は、[割り当ての有効化] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. [完了] をクリックします。

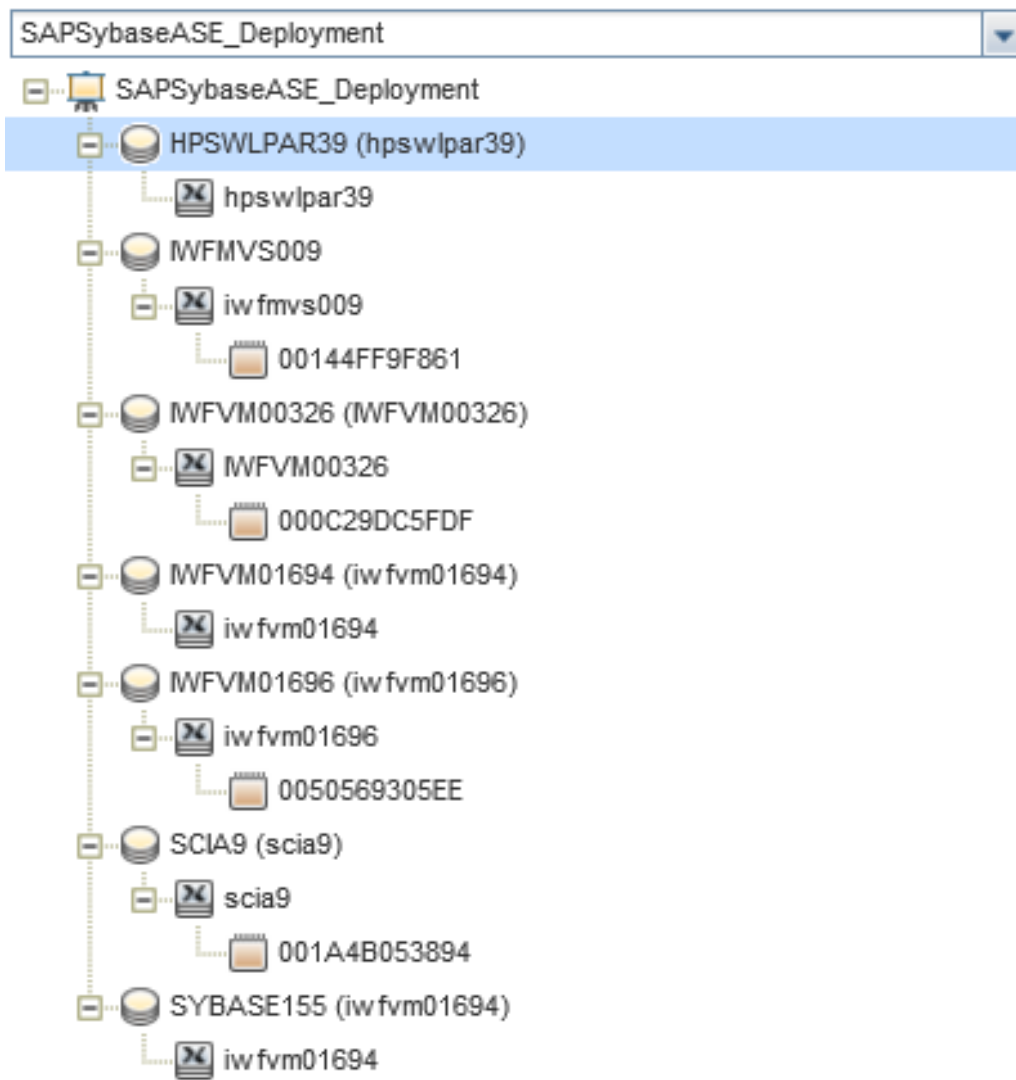
注: SAP Sybase ASE アスペクトがデプロイされると、次のメッセージが表示されます。「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、[管理] > [監視] > [デプロイメント ジョブ] を選択します。

タスク4: 検出の確認

SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイした後、[View Explorer] に CI が表示されていることを確認できます。

検出された CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. [ワークスペース] > [操作コンソール] > [Event Perspective] をクリックします。
2. [ビューの参照] タブで SAPSybaseASE_Deployment ビューを選択します。以下の図が表示されません。



タスク 5: root 以外のユーザが実行する HP Operations Agent 向けに OMi MP for SAP Sybase ASE を設定する方法

root 以外のユーザで Operations Agent を実行する UNIX ノードでは、上記のタスクに加えて、次のタスクを実行する必要があります。

SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイした後に、次の手順を実行します。

1. root ユーザとして `/var/opt/OV/bin/instrumentation` で次のスクリプトを実行します。

```
# dbspisyb_perl dbspisyb_root.pl
```

`/var/opt/OV/conf/dbspisyb.su` が作成されます。

2. root ユーザで `dbspisyb.su` ファイルを開き、次の行のコメントを解除するか、次の形式で新しい行

を追加します。<ユーザ>:<コマンド>

```
root:<SYBINSTPATH>/startserver -f <SYBINSTPATH>/RUN_<SVRNAME>
```

ここで、<SYBINSTPATH> は SAP Sybase ASE のインストールパスです。

タスク 6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ

Monitoring Automation for Composite Applications ライセンスを使用している場合、管理テンプレートまたはアスペクトを SAP Sybase ASE CI にデプロイできます。管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 6a:SAP Sybase ASE 管理テンプレートの特定とデプロイ](#)」を、アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6b:SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Monitoring Automation for Server ライセンスを使用している場合、アスペクトをデプロイできます。アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6b:SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

必要なユーザ権限

SAP Sybase ASE サーバを監視するには、資格情報を持つユーザに次の権限を付与します。システム管理者 (sa)

タスク 6a: SAP Sybase ASE 管理テンプレートの特定とデプロイ

SAP Sybase ASE 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した SAP Sybase ASE 管理テンプレートを特定する必要があります。

- SAP Sybase ASE サーバで主要なパフォーマンスと可用性に関するメトリックを監視する場合は、[基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)をデプロイします。
- 主要なパフォーマンスと可用性とともに、ネットワークパケットや並列処理などの詳細機能を監視する場合は、[詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)をデプロイします。


SAP Sybase ASE 管理テンプレートを SAP Sybase ASE CI にデプロイするには、次の手順を実行します。





1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。


[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [管理テンプレート]

3. [SAP Sybase ASE 管理テンプレート] フォルダでデプロイする管理テンプレートをクリックし、 [項目の割り当てとデプロイ] を選択します。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。

4. **[構成アイテム]** タブで管理テンプレートを割り当てる CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、必要なパラメータの詳細を入力するには、次の手順を実行します。
 - a. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名]** パラメータを選択して、 をクリックします。
[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] ダイアログボックスが開きます。
 - b. **[値]** をクリックし、ユーザ名を入力します。**[OK]** をクリックします。
 - c. **[SAP Sybase ASE インスタンス パスワード]** パラメータを選択し、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス パスワード] ダイアログボックスが開きます。
 - d. **[値]** をクリックし、**[パスワード]** フィールドに値を入力します。
 - e. **[パスワードの確認]** フィールドに同じパスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。
 - f. **[次へ]** をクリックして **[パラメータ サマリ]** に進みます。
6. (オプション) **[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
 - a. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して  をクリックします。[インスタンスパラメータの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. リストでパラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。**[値]** をクリックして値を指定し、**[OK]** をクリックします。

注: **[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパートパラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパートパラメータを表示するには、 **[エキスパートパラメータの表示]** をクリックします。

注: 同じように、**[SAP Sybase ASE エラー ログの頻度]** パラメータも編集できます。

 - c. **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当ての有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

タスク 6b: SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ


SAP Sybase ASE アスペクトを SAP Sybase ASE CI にデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [監視] > [管理 テンプレート および アスペクト]

2. [構成 フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成 フォルダ] > [データベース 管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト]




3. [管理 テンプレート および アスペクト] フォルダでデプロイするアスペクトを選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。

または、デプロイする SAP Sybase ASE アスペクトを右クリックし、[項目の割り当てとデプロイ] をクリックして [割り当てとデプロイ] ウィザードを開きます。

4. [構成 アイテム] タブでアスペクトをデプロイする Sybase CI を選択し、[次へ] をクリックします。



注: アスペクトをノード CI にデプロイする場合は、[タイプ ノードの CI も表示する] チェックボックスを選択します。


5. [必要なパラメータ] タブで、次の手順を実行して必須パラメータを指定する必要があります。

- a. リストの [SAP Sybase ASE インスタンス名] パラメータを選択して、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス名] ダイアログボックスが開きます。
- b. 値を指定して、[OK] をクリックします。
- c. リストの [SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] パラメータを選択して、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] ダイアログボックスが開きます。
- d. 値を指定して、[OK] をクリックします。
- e. リストの [SAP Sybase ASE インスタンス パスワード] パラメータを選択し、 をクリックします。[SAP Sybase ASE パスワード] ダイアログボックスが開きます。
- f. [値] をクリックし、[パスワード] フィールドに値を入力します。
- g. [パスワードの確認] フィールドに同じパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- h. [次へ] をクリックして [パラメータ サマリ] に進みます。

6. (オプション) [パラメータ サマリ] タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。変更しない場合は、[次へ] をクリックします。

パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。

- a. **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して  をクリックします。[インスタンス パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
- b. リストでパラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。[値] をクリックして値を指定し、[OK] をクリックします。

注: [パラメータ サマリ] タブでは、パラメータのデフォルト 値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレート レベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパート パラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパート パラメータを表示するには、 **[エキスパート パラメータの表示]** をクリックします。

注: 同じように、[SAP Sybase ASE エラー ログの頻度] パラメータも編集できます。

- c. **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当ての有効化]** チェック ボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

タスク 7: OMi MP for SAP Sybase ASE デプロイメントの確認

管理対象ノードに OMi MP for SAP Sybase ASE がデプロイされているの確認するには、次の手順を実行します。

1. **[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Event Perspective] > [View Explorer] > [ビューの参照]** をクリックします。
2. **[ビューの参照]** ペインでノードを右クリックし、**[ツールを起動]** をクリックします。[ツールの選択] ページが開きます。
3. **[SAP Sybase ASE Management Pack のデプロイメントの確認]** ツールを選択し、**[ツールの実行]** をクリックします。

タスク 8: root 以外のエージェント ユーザ用の SAP Sybase ASE エラーログ監視の設定

デフォルトで、root 以外のエージェント ユーザには、SAP Sybase ASE サーバのエラー ログファイルを読み取る権限がありません。エラー ログ ファイルを監視できるように読み取り権限を設定するには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、監視する SAP Sybase ASE サーバアラート ログを特定します。

```
/var/opt/OV/bin/instrumentation/dbspicas -l
```

エラー ログファイル名が表示されます。

2. 非 root ユーザにエラー ログ監視に対する読み取り権限を付与するには、Sybase ユーザとして次のコマンドを実行します。

```
chmod +r <Sybase-error-logfile>
```

SAP Sybase ASE 環境の監視

管理テンプレートとアスペクトをデプロイした後、次のパースペクティブから SAP Sybase ASE CI のステータスと状況を分析できます。

- [イベント パースペクティブ](#)
- [状況 パースペクティブ](#)
- [パフォーマンス パースペクティブ](#)

イベント パースペクティブ

SAP Sybase ASE 検出アスペクトおよび SAP Sybase ASE 管理テンプレートをデプロイした後で、OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE CI のイベントを表示できます。

SAP Sybase ASE CI のイベント パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [操作コンソール] ウィンドウを開きます。

[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Event Perspective] をクリックします。

[View Explorer] ペインが表示されます。

2. [View Explorer] で [ビューの参照] タブを選択します。

3. ドロップダウンメニューから **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブで SAP Sybase ASE サーバ CI を検索できます。

OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE Server CI のリストが表示されます。

4. イベント パースペクティブを表示する SAP Sybase ASE CI を選択します。選択した SAP Sybase ASE CI のイベントのリストが [Event Browser] ペインに表示されます。

[Event Browser] 内でイベントをクリックし、右クリックします。[表示] > [イベント詳細] を選択します。[イベント詳細] ペインが開き、次の内容が表示されます。

- **一般** - 重要度、ライフサイクル状態、優先度、関連 CI など、選択したイベントに関する詳細情報が表示されます。

- **追加情報**: 選択したイベントの属性に関する詳細情報が表示されます。
- **ソース情報**: 選択したイベントのソースに関する情報の概要が表示されます。
- **アクション**: 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。使用できるアクションには、ユーザアクションと自動アクションの2タイプがあります。
- **注釈**: 選択したイベントにアタッチされている注釈が表示されます。
- **カスタム属性**: 管理者または担当ユーザが手動で設定し、選択したイベントに追加した属性のリストが表示されます。
- **関連イベント**: イベント ブラウザで選択したイベントに関連するすべてのイベントが表示されます。
- **履歴**: 選択したイベントの履歴が表示されます。
- **解決ヒント**: イベントに関連付けられているノードとCIを特定する情報が表示されます。
- **説明**: 関連イベントの処理に役立つ情報が表示されます。
- **転送**: イベントの所有者に関する転送の詳細情報が表示されます。

状況パースペクティブ

SAP Sybase ASE 検出アスペクトおよび SAP Sybase ASE 管理テンプレートをデプロイした後で、OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE CI のイベントを表示できます。

SAP Sybase ASE CI の状況パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [操作コンソール] ウィンドウを開きます。

[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Health Perspective] をクリックします。

[View Explorer] ペインが表示されます。

2. [View Explorer] で [ビューの参照] タブを選択します。

3. ドロップダウンメニューから **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブで SAP Sybase ASE サーバCI を検索できます。

OMi MP for SAP Sybase ASE によって監視されている SAP Sybase ASE Server CI のリストが表示されます。

4. 状況パースペクティブを表示する SAP Sybase ASE CI を選択します。選択した SAP Sybase ASE CI の状況に関連するイベントのリストが [Event Browser] ペインに表示されます。

[Event Browser] ペインからイベントを選択すると、次のペインが表示されます。

- **Health Top View**: 選択したイベントのヘルストップビューが表示されます。
- **Health Indicators**: [Health Top View] ペインで選択した CI に関連する主要業績評価指標


(KPI) および HI が表示されます。

- Actions: 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。

パフォーマンス パースペクティブ

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフテンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

グラフを使用して SAP Sybase ASE CI のパフォーマンス パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [操作コンソール] ウィンドウを開きます。
[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Performance Perspective] をクリックします。
[View Explorer] ペインが表示されます。
2. [ビューの参照] タブで **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブで SAP Sybase ASE サーバ CI を検索できます。
3. パフォーマンス ペインに、**SAPSybaseASE_Deployment** で使用できるデフォルトのグラフが表示されます。
4. [グラフ] タブから作成するグラフをクリックし、 [グラフの作成] をクリックします。右ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理、状況 パースペクティブ、パフォーマンス パースペクティブの詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

第3章: コンポーネント

OMi MP for SAP Sybase ASE には、環境内にある SAP Sybase ASE サーバの監視を目的にした以下のコンポーネントが含まれます。

- [SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)
- [SAP Sybase ASE アспект](#)
- [パラメータ](#)
- [構成アイテム \(CI\) と CI タイプ \(CIT\)](#)
- [ランタイム サービス モデル \(RTSM\) のビュー](#)
- [状況 インジケータ \(HI\)](#)
- [イベント タイプ インジケータ \(ETI\)](#)
- [ツール](#)
- [グラフテンプレート](#)

SAP Sybase ASE 管理テンプレート

管理テンプレートは、重要性和環境の種類に応じた SAP Sybase ASE サーバの監視を可能にするいくつかのアспектで構成されます。デフォルトでは、OMi MP for SAP Sybase ASE は標準設定の SAP Sybase ASE 管理テンプレートで構成されています。デフォルトパラメータで管理テンプレートをそのままデプロイしたり、要件に応じて管理テンプレートをカスタマイズしたりできます。また、SAP Sybase ASE アспектを使用して監視要件に合った管理テンプレートを作成することも可能です。

概要

OMi MP for SAP Sybase ASE は、以下の管理テンプレートで構成されます。

- [基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)
- [詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート](#)

SAP Sybase ASE 管理テンプレートへのアクセス方法

1. [管理テンプレートおよびアспект] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

OMi では、**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект]** をクリックします。

2. **[構成フォルダ]** ペインで、**[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [管理テンプレート]** をクリックします。

タスク

SAP Sybase ASE 管理テンプレートを CI にデプロイする方法

SAP Sybase ASE 管理テンプレートのデプロイの詳細は、BSM の場合は「[タスク 6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアспектのデプロイ](#)」、OMi の場合は「[タスク 6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアспектのデプロイ](#)」を参照してください。

SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたは SAP Sybase ASE アспектを CI に自動的に割り当てる方法




SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたは SAP Sybase ASE アспектを自動的に割り当てるには、必要な権限を指定する必要があります。自動的に割り当てるには、以下の手順を実行します。




1. **[自動割り当てルール]** ペインを開くには、次を選択します。


BSM では、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [自動割り当てルール]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [監視] > [自動割り当てルール]** をクリックします。

自動割り当てルールには、上部に**[自動割り当てルール]** ペイン、下部に**[パラメータ]** ペインがあります。

2. **[自動割り当てルール]** ペインで  をクリックし、適切なオプションを選択します。**[自動割り当てルールの作成]** ウィザードが開きます。
3. **[ターゲット ビューの選択]** タブで、自動割り当てルールを作成するビューを選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. **[割り当てる項目の選択]** タブで、すべての CI に自動割り当てする管理テンプレートまたはアспектをクリックし、**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、次の手順を実行して必須パラメータを指定する必要があります。
 - a. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して、 をクリックします。**[SAP Sybase ASE インスタンス名]** ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. 値を指定して、**[OK]** をクリックします。
 - c. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名]** パラメータを選択して、 をクリックします。**[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名]** ダイアログ ボックスが開きます。
 - d. 値を指定して、**[OK]** をクリックします。

- e. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス パスワード]** パラメータを選択し、 をクリックします。
[SAP Sybase ASE パスワード] ダイアログ ボックスが開きます。
 - f. **[値]** をクリックし、**[パスワード]** フィールドに値を入力します。
 - g. **[パスワードの確認]** フィールドに同じパスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。
 - h. **[次へ]** をクリックします。
6. **[すべてのパラメータ]** タブ (BSM) および **[パラメータ サマリ]** タブ (OMi) では、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
- a. **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して  をクリックします。[インスタンスパラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。
 - i. リストでパラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。**[値]** をクリックして値を指定し、**[OK]** をクリックします。

注: **[すべてのパラメータ]**/**[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパートパラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパートパラメータを表示するには、 **[エキスパートパラメータの表示]** をクリックします。

- b. **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[自動割り当てルールのアクティブ化]** チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

割り当てルールが、自動割り当てルールのリストに追加されます。

次のいずれかの条件を満たすと、OMi に送信するイベントがトリガされます。

- デプロイメント ジョブが失敗する。
- 自動割り当てが失敗する。
- 自動割り当てが成功する。この動作は、[インフラストラクチャ設定] で指定できます。

自動割り当てルールの作成の確認方法

自動割り当てルールによって割り当てが問題なく作成されたかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [割り当ておよび調整] をクリックします。


2. [ビューの参照] タブで、自動割り当てルールを作成に使用したビューを選択します。
3. ビューを展開し、割り当て項目のルート CI タイプを示すノードを選択します。右のペインの上に割り当てが一覧表示されます。自動割り当てルールによって作成された割り当てには、[割り当て実行者] 列に [AutoAssignment] の値が表示されます。

割り当ては、次のオプションで調整できます。

- [自動割り当てルール] ペインでは、自動割り当てルールがトリガするすべての割り当てのパラメータ値を調整できます。
- [割り当ておよび調整] ペインでは、各割り当ての再デプロイ、削除、有効化または無効化を実行できます。

SAP Sybase ASE 管理テンプレートのインベントリレポートを表示する方法

インベントリレポートには、サーバ上で利用可能な管理テンプレート、アスペクト、ポリシーテンプレートが表示されます。SAP Sybase ASE 管理テンプレートのインベントリレポートを表示するには、次の手順を実行します。

1. レポートを作成する管理テンプレートを選択します。
2. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインの  [割り当てレポートの生成] をクリックします。

事前設定されている割り当てレポートが表示されます。

[割り当ておよび調整] ペインでは、他のタイプのレポートも表示できます。

注: リストには、選択したビュー内にあるルート CIT を持つ管理テンプレートのみが表示されます。または、アスペクトが自動割り当ての場合は、互換性のあるアスペクトのみが表示されます。

デフォルトでは、管理テンプレートまたはアスペクトの最新バージョンが選択されます。別のバージョンを選択する場合は、[バージョン] 列で選択してください。

基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート

基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートは、環境内の SAP Sybase ASE サーバの基本機能を監視するのに使用します。基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートには、SAP Sybase ASE 環境の可用性とパフォーマンスを監視する基本機能がほとんど含まれています。

SAP Sybase ASE がある環境で、SAP Sybase ASE サーバの可用性をチェックし、可用性、ディスク使用率、メモリ、パフォーマンスなどの SAP Sybase ASE の基本機能を監視し、さらに CPU、メモリ、およびディスクなどのインフラストラクチャ領域も監視するとします。このようなシナリオの場合、基本 SAP

Sybase ASE をすべての SAP Sybase ASE サーバ CI 上にデプロイできます。基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートは、これらの機能を監視する特定の аспекトで構成されます。

基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートへのアクセス方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [管理テンプレート] をクリックします。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、[基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート] をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

| UI 要素 | 説明 |
|-------|--|
| 名前 | 基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート |
| 説明 | 可用性、ディスク状況、メモリ、オブジェクト、キャッシュパフォーマンスなどの SAP Sybase ASE Server の主要機能の監視を管理します。さらに、リソースポトルネットワーク診断、システムフォールトなどのインフラストラクチャの重要な部分も監視します。 |
| ID | このバージョンの基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートを一意に特定する ID。 |
| バージョン | 管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。 |
| 変更ログ | このバージョンの管理テンプレートにおける新規追加または変更の内容を示すテキスト。 |

管理テンプレート - トポロジビュー

| UI 要素 | 説明 |
|---------|---|
| トポロジビュー | SAPSybaseASE_Deployment は、基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートのトポロジビューです。 |
| CI タイプ | 基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートで管理できる CI のタイプ。これは、管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプです。 |

基本管理テンプレート - アスペクト

基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートには、以下のアスペクトが含まれます。

- **SAP Sybase ASE アスペクト**
 - SAP Sybase ASE アプリケーション パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE 可用性
 - SAP Sybase ASE ベース
 - SAP Sybase ASE キャッシュ パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE CPU 使用率
 - SAP Sybase ASE データベース領域 使用率
 - SAP Sybase ASE 検出
 - SAP Sybase ASE ディスク状況
 - SAP Sybase ASE インデックス パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE ロック パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE メモリ パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE オブジェクト パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE プロセス動作
- **インフラストラクチャのアスペクト**

リソース ボトルネック診断

リソース ボトルネック診断アスペクトは、CPU、メモリ、ネットワークおよびディスクなどのシステムリソースの混雑やボトルネックとなっている状態を特定します。CPU のボトルネック監視は、グローバル CPU 使用率と負荷平均 (実行キューの長さ)に基づいて行われます。メモリボトルネックの監視は、メモリ使用率、使用可能な空き容量、メモリスワップアウト率に基づいて行われます。ファイルシステムの監視は、ノード上の最もビジーなファイルシステムの領域使用率に基づいて行われます。ネットワークの監視は、パケット衝突率、パケット エラー率、送信キューの長さに基づいて行われます。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|----------------------------|---------------------|---------------|
| Computer | Sys_CPUBottleneckDiagnosis | CPU 使用率のしきい値超過、プロセッ | 測定値しきい値テンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|-------------------------------|--|---------------|
| | | <p>サのキューの長さ、オペレーティングシステムで稼働するCPUの合計数などのCPU ボトルネックを検出します。たとえば、キューでCPU時間を待っているプロセス数がしきい値を超え、CPU 使用率もしきい値を超えた場合、ポリシーはアラートを送信します。メッセージには、CPU 使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。</p> | |
| Computer | Sys_DiskPeakUtilMonitor | <p>このポリシーテンプレートは、システムのディスク使用率レベルを監視します。使用率レベルが最大かどうかをチェックします。</p> | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_MemoryBottleneckDiagnosis | <p>物理メモリの使用率とボトルネックを監視します。メモリ使用率が高く、使用可能なメモリ容量が非常に少なくなると、メモリボトルネックの状態になります。メモリボトルネックが発生すると、システムの処理速度が低下し、全体的なパフォーマンスに影響を与えます。メモリ消費量が高いとページアウトが過剰に発生し、ページ走査率やス</p> | 測定値しきい値テンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|--|---|---------------|
| | | ワップアウト バイト率、ページの要求率が高くなります。最終的には、システムの処理速度が低下します。メッセージには、メモリ使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。 | |
| Computer | Sys_ NetworkInterfaceErrorDiagnosis | システムのネットワーク使用率を監視し、潜在的なネットワークのボトルネックまたはエラーをチェックします。 | 測定値しきい値テンプレート |

システム フォールト分析

システム フォールト分析 アスペクトは、クリティカルなエラー条件とその説明が記録されたカーネルログファイル、ブート ログファイル、イベント ログファイルを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|--------------------|--|------------------|
| Computer | Sys_LinuxKernelLog | カーネルログファイル /var/log/ を監視し、カーネル サービスに障害が発生した場合に警告を送信します。カーネルログファイルで、<*> kernel:<@.service>:<*.msg> failed のパターンと一致するエラー条件をチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が警戒域の警告が送信されます。 | ログファイルエントリテンプレート |
| Computer | Sys_LinuxBootLog | ブート ログファイル /var/log/boot.log を監視し、システムブート エラーが発生した場合に警告を送信します。以下の条件をチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> サービスの開始失敗 - ブート ログファイルで、<*> <@.service>:<@.daemon> | ログファイルエントリテンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|----------------------------------|---|-----------------------|
| | | <p>startup failed のパターンと一致するエラー条件をチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が警戒域の警告が送信されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サービスの失敗 - ログファイルで、 <*> <@.service>:<*.msg> failed のパターンと一致するエラー条件をチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が危険域の警告が送信されます。 | |
| Computer | Sys_LinuxSecureLog | <p>セキュリティで保護されたログインが失敗した場合、ユーザにアラートを送信します。<*> sshd :Failed password for <@.user> from <*.host> port <#> ssh2 と一致するエラー状態がないかチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が注意域の警告が送信されます。</p> | ログファイルエントリテンプレート |
| Computer | Sys_AIXErrptLog | <p>errpt ログファイル /var/opt/OV/tmp/sispi/errpt.log を監視し、エラー ログのエントリからエラーレポートを作成します。errpt ログファイルの列ごとに、 <@.errcode> <2#.mo><2#.dd><2#.hh><2#.mm><2#.yy> <@> <@> <@.object> <*.msgtext> と一致するエラー状態がないかチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が注意域の警告が送信されます。</p> | ログファイルエントリテンプレート |
| Computer | Sys_MSWindowsServer_DNSWarnError | <p>Microsoft DNS サーバサービスと関連プロセスのログファイルを監視し、重大度が注意域またはエラーのログエントリを転送します。このポリシーは、DNS ログファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> | Windows イベント ログテンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|--|--|-----------------------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ◦ DNS サーバは、リソースレコード用にメモリを割り当てるできませんでした。 ◦ DNS サーバは、利用可能なメモリが不足していたためクライアント要求を処理できませんでした。 ◦ DNS サーバは、ゾーン転送スレッドを作成できませんでした。 ◦ DNS サーバにファイル書き込みエラーが発生しました。 ◦ DNS サーバは、リモート プロシージャコール (RPC) サービスを初期化できませんでした。 | |
| Computer | Sys_ MSWindowsServer_ DHCPWamError | <p>DHCP イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログ エントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ lashlpr が NPS サービスと通信できません。 ◦ スコープまたはスーパースコープの BOOTP クライアントに使用できる IP アドレスはありません。 ◦ DHCP サーバは NPS サーバにアクセスできないので、クライアントの NAP アクセス状態を特定できません。 ◦ スコープまたはスーパースコープのリースに使用できる IP アドレスはありません。 ◦ DHCP サービスは監査ログの初期化に失敗しました。 ◦ ローカルコンピュータの DHCP/BINL サービスは、開始権限がないと判断しました。 | Windows イベント ログテンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|--|--|-----------------------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ◦ このワークグループ サーバの DHCP/BINL サービスは、IP アドレスを持つ別のサーバを検出しました。 ◦ DHCP サービスは DHCP のレジストリ構成の復元に失敗しました。 ◦ DHCP サービスはレジストリからグローバル BOOTP ファイル名を読み取ることができませんでした。 ◦ アクティブなインターフェイスがないため、DHCP サービスはクライアントにサービスを提供していません。 ◦ DHCP サーバにバインドされた静的 IP アドレスがありません。 ◦ DHCP サーバサービスはサービスコントローラへの登録に失敗しました。 ◦ DHCP サーバサービスはレジストリパラメータの初期化に失敗しました。 | |
| Computer | Sys_ MSWindowsServer_ NFSWarnError | <p>NFS イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログエントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ ディスクの空き領域が少ないことを検出し、NFS サーバは監査の記録を停止しました。 ◦ 監査ログが最大ファイルサイズに達しました。 ◦ NFS 用サーバを RPC ポート マップに登録できませんでした。 ◦ NFS 用サーバはフェーズ 2 の初期化中に NFS ドライバからエ | Windows イベント ログテンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|--|--|-----------------------|
| | | <p>ラーを受信しました。</p> | |
| Computer | Sys_ MSWindowsServer_ TerminalServiceWarn Error | <p>ターミナル サービスのイベント ログで、重大度が注意域またはエラーのエントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ターミナル サーバは現在接続を受け入れないように構成されているため、接続要求が拒否されました。 ○ 認証が失敗したので自動接続は失敗し、ユーザはセッションに再接続できませんでした。 ○ ターミナル サービスの開始に失敗しました。 ○ ターミナル サーバは多数の不完全な接続を受信しました。 | Windows イベント ログテンプレート |
| Computer | Sys_ MSWindowsServer_ WindowsLogonWarn Error | <p>Windows ログオンと初期化のイベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのエラー ログ エントリを転送します。このポリシーは、Windows ログファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Windows のライセンスが無効です。 ○ Windows のライセンス認証の手続きが失敗しました。 ○ Windows のログオン プロセスによって、デスクトップを切り替えることができませんでした。 ○ Windows のログオン プロセスは予期せぬ原因により終了しました。 ○ Windows のログオン プロセスによって、ユーザアプリケーションを起動できませんでした。 | Windows イベント ログテンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------|---|----------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> Windows のログオン プロセスによって、現在ログオンしているユーザのプロセスを終了できませんでした。 Windows のログオン プロセスによって、ユーザ セッションを切断できませんでした。 | |

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出 アスペクトは、管理対象ノードのシステムリソース、オペレーティングシステム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|----------------------------|--|----------------|
| Computer | OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR | Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されます。Infrastructure SPI のポリシーを使用する場合は、この値を TRUE に設定します。 | ノード情報テンプレート |
| Computer | SISystemDiscovery | ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理対象ノードから収集します。 | サービス自動検出テンプレート |

詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート

詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートは、単一のデータベース インスタンスと高可用性環境の監視に使用できます。この管理テンプレートは SAP Sybase ASE のアスペクトとインフラストラクチャアスペクトの完全なセットで構成され、SAP Sybase ASE サーバ環境の可用性、ステータス、稼動状態を監視できます。

すべてのサーバの可用性とパフォーマンスをチェックし、デバイスパフォーマンス、アプリケーションパフォーマンス、並列処理などの SAP Sybase ASE の高度な機能を監視し、さらに、クエリ、メモリ、オブジェクト、トランザクション、セッション、ロックなどの SAP Sybase ASE の基本機能も監視するとします。詳細管理テンプレートは、このような機能を監視するアスペクトで構成されます。

詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートへのアクセス方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [管理テンプレート] をクリックします。
3. [管理テンプレートおよびアспект] ペインで、[詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート] をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

| UI 要素 | 説明 |
|----------|---|
| 名前 | 詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレート |
| 説明 | 可用性、CPU 使用率、並列処理、ネットワーク パケットなどの SAP Sybase ASE の主要な機能や高度な機能の監視を管理します。さらに、SAP Sybase ASE サーバのパフォーマンス領域 (デバイス パフォーマンスやクエリ パフォーマンスなど) とインフラストラクチャ領域 (CPU、メモリ、ネットワーク、ディスクなど) も監視されます。 |
| バージョン ID | このバージョンの詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートを一意に特定する ID。 |
| バージョン | 管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。 |
| 変更ログ | このバージョンの管理テンプレートにおける新規追加または変更の内容を示すテキスト。 |

管理テンプレート - トポロジ ビュー

| UI 要素 | 説明 |
|----------|---|
| トポロジ ビュー | SAPSybaseASE_Deployment は、詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートのトポロジ ビューです。 |
| CI タイプ | 詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートで管理できる構成アイテムのタイプ。これは、管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプです。 |

詳細管理テンプレート - アспект

詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートには、以下のアспектが含まれます。

- SAP Sybase ASE アスペクト
 - SAP Sybase ASE アプリケーション パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE 可用性
 - SAP Sybase ASE ベース
 - SAP Sybase ASE キャッシュ パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE CPU 使用率
 - SAP Sybase ASE データベース領域 使用率
 - SAP Sybase ASE デバイス パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE 検出
 - SAP Sybase ASE ディスク状 況
 - SAP Sybase ASE インデックス パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE ロック パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE メモリ パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE ネットワーク パケット
 - SAP Sybase ASE オブジェクト パフォーマンス
 - SAP Sybase ASE 並列処理
 - SAP Sybase ASE プロセス動作
 - SAP Sybase ASE クエリ パフォーマンス

- **インフラストラクチャのアスペクト**

- メモリとスワップの使用量**

- メモリとスワップの使用量アスペクトは、システムのメモリ パフォーマンスを監視します。メモリ パフォーマンスの監視は、メモリ使用率 (割合)、スワップ領域使用率 (割合)、使用可能な空きメモリ (MB)、使用可能な空きスワップ領域 (MB) に基づき行われます。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|---|---|-------------------|
| Computer | Sys_ MSWindowsNonPagedPoolUtilizatio n-AT | 非 ページ プールのメモリを監視します。非 ページ プールは、使用中でない場合でもディスクに書き込むことができないオブジェクトに対する物理システムメモリの領域です。 | 測定値しきい値 テンプレート |
| Computer | Sys_ MSWindowsPagedPoolUtilization-AT | ページ プールのメモリを監視します。ページ プールは、使用中でない場合にディスクに書き込むことができるオブジェクトに対する物理システムメモリの領域です。 | 測定値しきい値 テンプレート |
| Computer | Sys_MemoryUsageAndPerformance | システムのメモリ使用率を監視し、メモリにボトルネックがあるかどうかを判断するためのエラー レートと競合を表示します。 | 測定値しきい値 テンプレート |
| Computer | Sys_MemoryUtilization-AT | グローバルメモリ使用率を監視します。メモリ使用率は、一定間隔における使用中の物理メモリの割合です。これには、カーネル、バッファ キャッシュ、ユーザメモリによって占有されるシステムメモリが含まれます。 | 測定値しきい値 テンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|-------------------------|---|---------------|
| Computer | Sys_SwapCapacityMonitor | システムのスワップ領域使用率を監視します。 | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_SwapUtilization-AT | 管理対象ノードでシステムによって使用されるグローバルスワップ領域を監視します。 | 測定値しきい値テンプレート |

CPU パフォーマンス

CPU パフォーマンス アスペクトは、CPU 使用率やCPU 使用率のスパイクなど、全体的な CPU パフォーマンスを監視します。CPU パフォーマンスの監視には、合計 CPU 使用率、ユーザモードでの CPU 使用率、システムモードでの CPU 使用率、割り込み率が使用されます。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|-----------------------------|---|---------------|
| Computer | Sys_CPUSpikeCheck | プロセッサパフォーマンスのばらつきを監視します。CPU スパイクとは、CPU 使用率が急増した直後に低減する現象です。このポリシーテンプレートは、ユーザモードとシステムモードで消費した CPU 時間を監視します。また、CPU がビジー状態の CPU 時間の合計も監視します。 | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_GlobalCPUUtilization-AT | 管理対象ノード上の CPU のパフォーマンスを監視し、すべての CPU に対する使用率がしきい値レベルを超えた場 | 測定値しきい値テンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|------------------------------|---|---------------|
| | | 合にアラートを送信します。 | |
| Computer | Sys_PerCPUUtilization-AT | 管理対象ノード上の各 CPU の使用率を監視します。すべての間隔で各 CPU インスタンスを個別に処理します。 | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_RunQueueLengthMonitor-AT | CPU の実行キューで待機中のプロセス数を監視し、実行キュー内のプロセス数がしきい値レベルを超えた場合にアラートを送信します。 | 測定値しきい値テンプレート |

空き領域とディスク IOPS

空き領域とディスク IOPS アスペクトは、システムのディスク I/O 操作と領域使用率を監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|----------------------------------|---|---------------|
| Computer | Sys_FileSystemUtilizationMonitor | ノード上のファイルシステムの使用率を監視します。 | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_PerDiskAvgServiceTime-AT | ディスク I/O サービス時間を監視します。ディスク平均サービス時間は、所定の時間内に各ディスク要求の処理にディスクが費やした時間です。このポリシーでは、ノードの HP Performance Agent が必要です。 | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_PerDiskUtilization-AT | ディスクのマルチインスタンスベースラインを決定します。ディスク使用率は、システム要求の処理のため | 測定値しきい値テンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------|------------------------------|----------|
| | | にディスクがビジー状態になった時間の割合 (%) です。 | |

リモート ディスク領域使用量

リモート ディスク領域 使用量 アスペクトは、リモート ディスク領域 の使用率を監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|-------------------------|-------------------------------------|---|--------------------|
| Computer、 FileSystem | Sys_ LinuxCifsUtilizationMonitor | このポリシー テンプレートは、Linux プラットフォーム上の CIFS リモート ファイルシステムの領域 使用率レベルを監視します。 | 測定 値しきい値 テンプレート |
| Computer、 FileSystem | Sys_ LinuxNfsUtilizationMonitor | Linux プラットフォーム上の NFS リモート ファイルシステムの領域 使用率レベルを監視します。 | 測定 値しきい値 テンプレート |

帯域幅使用量とネットワーク IOPS

帯域幅使用量とネットワーク IOPS アスペクトは、ネットワーク内のシステムの I/O 操作とパフォーマンスを監視します。使用中の帯域幅、送信キューの長さ、平均転送バイト数/秒に基づいて、ネットワークの I/O オペレーションおよびパフォーマンスを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|------------------------------------|---|--------------------|
| Computer | Sys_ NetworkUsageAndPerformance | システムのネットワーク 使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、ネットワークに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。このポリシー テンプレートは、vMA マシンだけの物理 NIC を監視します。Windows オペレーティングシステムでは、BYNETIF_COLLISION メトリックを使用できないので、パッケージ競合に関するパフォーマンス データ | 測定 値しきい値 テンプレート |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|--------------------------------|---|---------------|
| | | を監視しません。 | |
| Computer | Sys_PerNetifOutbyteBaseline-AT | このポリシーは、一定の間隔でのネットワークインターフェイスの送信バイト率を監視します。管理対象ノード上の各ネットワークインターフェイスで送信バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワークインターフェイスの各インスタンスを個別に処理します。 | 測定値しきい値テンプレート |
| Computer | Sys_PerNetifInbyteBaseline-AT | 一定の間隔で個別のネットワークインターフェイスの受信バイトレートを監視します。管理対象ノード上の各ネットワークインターフェイスで受信バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワークインターフェイスの各インスタンスを個別に処理します。 | 測定値しきい値テンプレート |

システム インフラストラクチャ検出

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | ポリシーの説明 | ポリシー タイプ |
|----------|----------------------------|--|----------------|
| Computer | OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR | Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されます。Infrastructure SPI のポリシーを使用する場合は、この値を TRUE に設定します。 | ノード情報テンプレート |
| Computer | SISystemDiscovery | ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理対象ノードから収集します。 | サービス自動検出テンプレート |

SAP Sybase ASE アスペクト

SAP Sybase ASE アスペクトを使用して、SAP Sybase ASE の構成要素やユニットを監視できます。SAP Sybase ASE のアスペクトは、SAP Sybase ASE の状況とパフォーマンスを監視するためのポリシーテンプレート、インストールメンテーション、パラメータで構成されます。

SAP Sybase ASE アスペクトにアクセスする方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト] をクリックします。

タスク

SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイ方法




SAP Sybase ASE アスペクトのデプロイの詳細は、BSM では「[タスク6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ](#)」、OMi の場合は「[タスク6: SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。








SAP Sybase ASE アスペクトの作成方法

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。


BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] > [構成フォルダ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。


2. [構成フォルダ] ペインで、新しいアスペクトを作成する構成フォルダを選択します。新しい構成フォルダの作成が必要な場合は、 をクリックします。
3. [構成フォルダ] ペインで、[データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト] をクリックします。
4. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、 をクリックしてから、 [アスペクトの作成] をクリックします。[アスペクトの作成] ウィザードが開きます。
5. [一般] タブで、新しいアスペクトの一意の名前を指定し、[次へ] をクリックします。
6. [CI タイプ] タブで、次の手順を実行します。

- a. 各アスペクトで、1つ以上の構成アイテムのタイプの1つの機能または特性を管理できます。**[CI タイプ]** タブで、このアスペクトの割り当てが可能な**[利用可能な CI タイプ]**を1つ以上選択し、 をクリックして割り当て対象 CI タイプの一覧に追加します。(複数の CI タイプを選択するには、**[Ctrl]** を押します)
 - b. CI タイプに関係なくノードを割り当て可能にする必要がある場合は、**[互換性のあるノード]** チェックボックスを選択します。
 - c. **[次へ]** をクリックします。
7. **[インストルメンテーション]** タブで  をクリックして、インストルメンテーションをアスペクトに追加します。**[インストルメンテーションの追加]** ダイアログボックスが開き、追加するインストルメンテーションを選択できます。追加するインストルメンテーションを選択し、**[OK]** をクリックします。**[次へ]** をクリックします。
 8. (オプション) **[アスペクト]** タブで  をクリックしてから、 **[既存アスペクトの追加]** をクリックします。**[既存アスペクトの追加]** ダイアログボックスが開き、このアスペクト内にネストする既存アスペクトを選択できます。アスペクトを選択し、**[OK]** をクリックします。**[次へ]** をクリックします。
 9. **[ポリシー テンプレート]** タブで  **[ポリシー テンプレートの追加]** (BSM) および **[ポリシー テンプレートをリストから追加]** (OMi) をクリックします。**[新規ポリシー テンプレートをアスペクトに追加]** ダイアログボックスが開きます。追加するポリシー テンプレートを選択し、**[OK]** をクリックします。複数のポリシー テンプレートを選択するには、**[CTRL]** または **[SHIFT]** を押します。
 10. 適切なポリシー テンプレートが存在しない場合は  をクリックします。続いて、 **[新規ポリシー テンプレートの追加]** をクリックしてポリシー テンプレートを作成します。
 11. **[ポリシー テンプレート]** タブで、追加するポリシー テンプレートの**[バージョン]** を選択します。すべての必要な情報を入力します。

注: ポリシー テンプレートへの各変更は、別のバージョンとしてデータベースに保存されます。アスペクトには、ポリシー テンプレートの特定のバージョンが含まれます。新しいバージョンのポリシー テンプレートが後で使用可能になる場合は、最新バージョンを含めてアスペクトを更新する必要があります。


12. (オプション) **[ポリシー テンプレート]** タブで、配布条件を追加するポリシー テンプレートをクリックし、 **[デプロイ条件の編集]** を選択します。**[デプロイ条件の編集]** ダイアログボックスが開き、選択したポリシー テンプレートのデプロイ条件を指定できます。条件を設定し、**[OK]** をクリックします。
 - a. **[ポリシー テンプレート]** タブで、**[次へ]** をクリックします。
13. (オプション) **[パラメータ]** タブで、このアスペクトに追加したポリシー テンプレートにあるすべてのパラメータの一覧を参照できます。

パラメータを結合するには、以下の操作を行います。

- a. **[CTRL]** を押して、結合するパラメータを選択します。
- b.  をクリックします。[パラメータの編集/結合] ダイアログ ボックスが開きます。
- c. 結合パラメータの[名前]を入力します。
- d. [説明] および[標準設定値]を指定します。また、結合パラメータが[読み取り専用]、[エキスパート設定]、[非表示]のいずれかも指定します。

注: [読み取り専用] にすることで、構成アイテムにアスペクトを割り当てる際にパラメータ値が変更されないようにできます。[非表示]にしても変更を防げますが、パラメータも見えなくなります。ユーザは割り当て時に、エキスパート設定を表示するかどうかを選択できます。

- e. 特定のデフォルト値を設定できるほか、[CI 属性から] をクリックして CI 属性を参照することもできます。CI 属性を指定する場合、Operations Management はこの CI 属性の実際の値を使用して、ポリシーテンプレートのデプロイ時に自動的にパラメータ値を設定します。ここで、条件パラメータ値を設定することもできます。
- f. **[OK]** をクリックします。

注: また、複数のパラメータを結合せずに編集し、ポリシーテンプレートのデフォルト値を上書きすることもできます。パラメータを1つクリックし、 をクリックします。[パラメータの編集/結合] ダイアログボックスが開きます。

- 14. [アスペクトの作成] ウィザードで **[完了]** をクリックし、アスペクトを保存してからウィザードを閉じます。新しいアスペクトが、[管理テンプレートおよびアスペクト] ペインに表示されます。

アスペクト

SAP Sybase ASE のアスペクトは、SAP Sybase ASE サーバの状況とパフォーマンスを監視するためのポリシーテンプレート、インストルメンテーション、パラメータで構成されます。各 SAP Sybase ASE アスペクトは、SAP Sybase ASE サーバの個々のユニットを監視するのに使用できます。

ユーザインターフェイスの参照情報

| | |
|--------------|--|
| 全般 | SAP Sybase ASE アスペクトの一般的な属性情報の概要。 |
| CI タイプ | アスペクトの割り当てが可能な CI のタイプ。Sybase は、アスペクトの割り当てが可能な CI のタイプを表します。 |
| インストルメンテーション | 検出、収集、データログのバイナリを含むシングルパッケージを提供します。 |

| | |
|------------|--|
| アスペクト | SAP Sybase ASE のアスペクトに含まれるすべてのアスペクトの概要を提供します。リストの各項目を展開すると、ネストされたアスペクトの詳細を参照できます。SAP Sybase ASE ベースアスペクトは、他のすべてのアスペクトの一部となっています。 |
| ポリシーテンプレート | SAP Sybase ASE のアスペクトに含まれるポリシーテンプレートの概要を提供します。リストの各項目を展開して、ポリシーテンプレートの詳細を参照できます。 |

OMi MP for SAP Sybase ASE は、以下の SAP Sybase ASE アスペクトで構成されます。

SAP Sybase ASE アプリケーション パフォーマンス

優先度スイッチの使用、ブロックされたプロセス、特定のアプリケーションやログイン タスク、または各アプリケーションのすべてのユーザが使用したシステム リソースを監視します。

| CI タイプ | ポリシーテンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシータイプ |
|--------|-------------------|---|---|---------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2046 | SAPSybaseASE_HighPrioritySwitchesPct: 高、SAPSybaseASE_HighPrioritySwitchesPct: 正常域 | 使用される高優先度切り替え (S046_HigPrioChngsPct) のしきい値の割合を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2047 | SAPSybaseASE_MediumPrioritySwitchesPct: 高、SAPSybaseASE_MediumPrioritySwitchesPct: 正常域 | 中優先度切り替え (S047_MedPrioChngsPct) のしきい値の割合を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2048 | SAPSybaseASE_LowPrioritySwitchesPct: 高、SAPSybaseASE_LowPrioritySwitchesPct: 正常域 | 低優先度切り替え (S048_LowPrioChngsPct) のしきい値の割合を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2050 | SAPSybaseASE_CpuPctForAppOrLogin: 高、SAPSybaseASE_CpuPctForAppOrLogin: 正常域 | アプリケーション/ログインの全体の CPU に対する CPU 使用率 (S050_CPUAppLognPc | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| | | | t) のしきい値の割合を監視します。 | |
| Sybase | SAPSybaseASE_2051 | SAPSybaseASE_IOPctForAppOrLogin: 高、SAPSybaseASE_IOPctForAppOrLogin: 正常域 | 全 I/O に対する 1 つまたは複数のアプリケーション/ログインの I/O の割合 (S051_IOAppLognPct) のしきい値の割合を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2250 | なし | 特定のアプリケーション/ログインでのアプリケーション/ログインの全体に対する CPU 使用率 - ドリルダウン (S250_CPUAppLognPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2251 | なし | 特定のアプリケーション/ログインでのアプリケーション/ログインの全体に対する I/O の割合 - ドリルダウン (S251_IOAppLognPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE 可用性

SAP Sybase ASE の接続ステータス、プロセスなどを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2002 | SAPSybaseASE_DBServerConn: 停止、 SAPSybaseASE_DBServerConn: 稼働 | Sybase データベースサーバ可用性を監視します (S002_DatabaseServerMonitor)。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2007 | SAPSybaseASE_UsrConnPct: 高、 SAPSybaseASE_UsrConnPct: 正常域 | データベースクエリを処理するために接続されているユーザ数の最大数に対する割合 (S007_ConnectUsersPct) をチェックします。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2011 | SAPSybaseASE_DataSrvProcStatus: 停止、 SAPSybaseASE_DataSrvProcStatus: アップ | データベースプロセスを監視します (S011_ProcessStatus)。サーバで重要なプロセスが動作しているかどうかをチェックします。このメトリックは、見つからない重要なプロセスの名前をレポートします。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2012 | SAPSybaseASE_EnginesOfflineCnt: 停止、 SAPSybaseASE_EnginesOfflineCnt: アップ | オフラインのエンジン数 (S012_EnginesOffCnt) をチェックします。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2020 | なし | Sybase バックアップサーバ接続の監視 (S020_BackupServerStatus) | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2061 | SAPSybaseASE_ConnPerUserCnt: 高、 SAPSybaseASE_ConnPerUserCnt: 正常域 | ユーザログイン ID 1 つあたりのユーザあたりの平均接続数 (S061_ConnectPerUsrCnt) を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--|---|------------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2206 | SAPSybaseASE_DatabaseConn: 停止、 SAPSybaseASE_DatabaseConn: アップ、 SAPSybaseASE_DatabaseConn: ダウンステータス | データベースのステータスおよび接続 (S206_DatabaseStatus) をチェックします。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2225 | なし | SAP Sybase ASE 可用性: サーバの稼働時間のレポートを生成します。 | ConfigFile |
| Sybase | SAPSybaseASE_2306 | なし | データベース ステータス (S306_DBUseCheck) をチェックします。 | 測定値しきい値 |

*設定値 maximum online engines をチェックします。必要な場合は、dbcc engine コマンドを使用して、エンジンをオンラインにします。

SAP Sybase ASE ベース

SAP Sybase ASE の監視の基本アспектです。構成、エラー ログ、スケジューラ、およびロガーポリシーを含みます。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|----------------------------|--------|---|--------------|
| Sybase | SAPSybaseASE_Configuration | なし | SAP Sybase ASE サーバとの接続を確立するためのユーザ構成を更新するために使用します。 | ConfigFile |
| Sybase | SAPSybaseASE_ErrorLog | なし | エラー ログ ファイル内の SAP Sybase ASE エントリを監視します。 | ログファイルエントリ |
| Sybase | SAPSybaseASE_VeryHigh | なし | デフォルトでは、5 分ごとに | スケジュールされたタスク |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-----------------------|--------|---|---------------------|
| | | | SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを実行します。環境に応じて、スケジュールは変更できます。 | |
| Sybase | SAPSybaseASE_High | なし | デフォルトでは、15分ごとに SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを実行します。環境に応じて、スケジュールは変更できます。 | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Medium | なし | デフォルトでは、1時間ごとに SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを実行します。環境に応じて、スケジュールは変更できます。 | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Low | なし | デフォルトでは、1日1回 SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを実行します。環境に応じて、スケジュールは変更できます。 | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Logger | なし | デフォルトでは、5分ごとに SAP Sybase ASE サーバロガーのデータフィードを実行します。 | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Messages | なし | OMi MP for SAP Sybase ASE プログラムによって送信されたメッセージを傍受します。 | オープン メッセージ インターフェイス |

SAP Sybase ASE キャッシュパフォーマンス

データ キャッシュ、プロシージャ キャッシュ、リソースなどのパフォーマンスを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2031 | SAPSybaseASE_DataCachePct: 低、 SAPSybaseASE_DataCachePct: 正常域 | データ キャッシュの全メモリに対する割合 (S031_DataCachePct) のしきい値を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2032 | SAPSybaseASE_ProcedureCachePct: 高、 SAPSybaseASE_ProcedureCachePct: 正常域 | ディスクから読み取られるプロシージャ キャッシュの割合 (S032_ProcedureCachePct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2033 | SAPSybaseASE_DataCacheMissPct: 高、 SAPSybaseASE_DataCacheMissPct: 正常域 | データ キャッシュミスの割合 (S033_DataCacheMissPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2035 | SAPSybaseASE_CacheUtilizationPct: 高、 SAPSybaseASE_CacheUtilizationPct: 正常域 | 1つまたは複数のデータ キャッシュの使用率 (S035_CacheUtilizationPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2036 | SAPSybaseASE_LargeIODeniedPct: 高、 SAPSybaseASE_LargeIODeniedPct: 正常域 | サーバ全体の拒否された大容量 I/O の割合 (S036_LargeIODeniedPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--------|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2235 | なし | 特定のデータキャッシュのキャッシュ使用率 (S235_CacheUtilztnPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2236 | なし | 特定のデータキャッシュの拒否された大容量 I/O の割合 (S236_LrgelODeniedPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE CPU 使用率

Adaptive Server が CPU を使用できた時間の間に Adaptive Server エンジンがどの程度ビジーだったか、どの程度の頻度でオペレーティングシステムに CPU を譲渡したかなどを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2001 | SAPSybaseASE_SrvEngineCPUUtilPct: 危険域、 SAPSybaseASE_SrvEngineCPUUtilPct: 正常域、 SAPSybaseASE_SrvEngineCPUUtilPct: 注意域、 SAPSybaseASE_SrvEngineCPUUtilPct: 正常域 | Adaptive Server エンジンが割り当てられた CPU 時間を使用する時間の割合 (S001_UtilByCPUPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2003 | SAPSybaseASE_TaskContextSwitchPct: 高、 SAPSybaseASE_TaskContextSwitchPct: 正常域 | タスクコンテキスト切り替え (S003_ContextSwitch) の割合を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--------|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2203 | なし | 特定のタイプのタスクコンテキスト切り替え (S203_ContextSwitch) の割合を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE データベース領域使用率

データベース領域使用率、すなわちセグメント領域、データベース サイズなどを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2004 | SAPSybaseASE_TransLogFreeSpacePct: 低、SAPSybaseASE_TransLogFreeSpacePct: 正常域 | 1つまたは複数のデータベースのトランザクションログの空き領域 (S004_TransLogFullPct) を監視します。* | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2005 | SAPSybaseASE_DBSegmentFreeSpace: 低、SAPSybaseASE_DBSegmentFreeSpace: 正常域 | 1つまたは複数のデータベースセグメントの空き容量の割合 (S005_SegmentSpacePct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2204 | なし | 特定のデータベースのトランザクションログの空き領域の割合 (S204_TransLogFullPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2205 | なし | 特定のデータベースセグメントの残り領域の割合 (S205_SegmentSpacePct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--------|---|------------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2222 | なし | SAP Sybase ASE データベース サイズ: 割り当て済み データベース サイズと空きデータベース サイズ (MB) のレポートを生成します。 | ConfigFile |
| Sybase | SAPSybaseASE_2223 | なし | SAP Sybase ASE テーブル サイズ: 空きテーブル サイズと割り当て済み テーブル サイズ (MB) を監視します。 | ConfigFile |

*トランザクション ログは定期的にダンプ (切り捨て) する必要があります。そうしないと、ログが無制限に大きくなって、やがていっぱいになってしまいます。次のデータベース オプションをオンにする方法もあります。
 sp_dboption database, 'trunc log on chkpt' true。ただし、この方法は実稼働マシンでは推奨されません。もう1つの方法は、トランザクション ログをダンプして、完了したトランザクションをすべて消去することです。トランザクション ログは、しきい値に達する前に定期的に自動で消去することをお勧めします。トランザクション ログを消去しても小さくならない場合は、完了していない長時間のトランザクションがあるか、データベースに中止されたトランザクションがあって、ログで完了とマークされていない可能性があります。最後の手段としては、サーバをシャットダウンして再起動します。これにより、完了していないトランザクションは完了とマークされます (さらにロールバックされます)。このメトリックの自動アクションは、各データベースのデータベース名とログの使用率を示すレポートを生成します。

SAP Sybase ASE デバイス パフォーマンス

デバイス関連のアクティビティ、すなわちミラー ステータスや仮想 デバイス領域などを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2016 | SAPSybaseASE_VirtualDeviceSpaceUsed: 低、 SAPSybaseASE_VirtualDeviceSpaceUsed: 正常域 | 1つまたは複数の仮想 デバイスの使用済み領域の割合 (S016_SpacedUsedPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE | SAPSybaseASE_ | アクティブでないミ | 測定値しきい |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|------------|
| | E_2017 | MirrorDevicesNotActive: 停止、SAPSybaseASE_MirrorDevicesNotActive: アップ | ラー デバイスの数 (S017_MirrDevNoActCnt) を監視します。 | 値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2216 | なし | 特定の仮想デバイスの使用済みメモリ領域の割合 (S216_SpacedUsedPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2224 | なし | SAP Sybase ASE 仮想デバイスサイズ: 割り当て済み仮想デバイスサイズ (MB) のレポートを生成します。 | ConfigFile |

SAP Sybase ASE 検出

SAP Sybase ASE サーバおよび SAP Sybase Replication Server のデプロイメントトポロジを検出し、RTSM データベースに対応する CI を格納します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|----------|------------------------|--------|--|--------------------|
| Computer | SAPSybaseASE_Discovery | なし | SAP Sybase ASE 検出ポリシー。 | サービス自動検出 |
| Sybase | SAPSybaseASE_Messages | なし | OMi MP for SAP Sybase ASE プログラムによって送信されたメッセージを傍受します。 | オープンメッセージ インターフェイス |

SAP Sybase ASE ディスク状況

サーバ全体のディスク I/O 動作を監視し、読み取りなどを報告します。

| CI タイプ | ポリシー テンプ レート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|------------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2013 | SAPSybaseASE_DiskIOPct: 高、 SAPSybaseASE_DiskIOPct: 正常域 | 1つまたは複数のディスクで実行された合計 I/O の割合 (S013_DiskIOPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2075 | SAPSybaseASE_CompletDiskIOPct: 低、 SAPSybaseASE_CompletDiskIOPct: 正常域 | 完了したディスク I/O の割合 (S075_ComplteDskIOPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2077 | SAPSybaseASE_PhysicalReadsRate: 高、 SAPSybaseASE_PhysicalReadsRate: 正常域 | 1秒あたりの物理読み取り回数 (S077_PhysReadsRate) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2078 | SAPSybaseASE_LogicalReadsRate: 高、 SAPSybaseASE_LogicalReadsRate: 正常域 | 1秒あたりの論理読み取り回数 (S078_LogicReadsRate) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2213 | なし | 特定のディスクによって実行された I/O の全体に対する割合 -ドリルダウン (S213_DiskIOPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2226 | なし | SAP Sybase ASE 作業負荷: 各表領域に対する最後の収集以降、ディスクに対して行われる物理的な読み書きの回数を設定するために使用します。 | ConfigFile |

SAP Sybase ASE インデックス パフォーマンス

非クラスタ化メンテナンスを含むインデックス管理動作を監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2015 | SAPSybaseASE_OpenIndexesPct: 低、 SAPSybaseASE_OpenIndexesPct: 正常域 | オープン インデックスの割合* (S015_OpenIndexPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2070 | SAPSybaseASE_HeapInsertsPct: 高、 SAPSybaseASE_HeapInsertsPct: 正常域 | クラスタ化 インデックスを持たないテーブルへのヒープ挿入率 (S070_HeapInsertPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2071 | SAPSybaseASE_Non-ClstIndexesMaintenanceForInsOrUpdts: 高、 SAPSybaseASE_Non-ClstIndexesMaintenanceForInsOrUpdts: 正常域 | テーブルに対する挿入/更新に関するメンテナンスが必要な非クラスタ化インデックス (NCI) の平均数 (S071_NCIxReqMntIU Pct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2072 | SAPSybaseASE_Non-ClstIndexesMaintenanceForDeletes: 高、 SAPSybaseASE_Non-ClstIndexesMaintenanceForDeletes: 正常域 | テーブルに対する削除に関するメンテナンスが必要な NCI の平均数 (S072_NCIxReqMntDIPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

* オープン インデックスの最適な数を判定するには、次のコマンドを実行します。

```
p_countmetadata 'open indexes'
sp_monitorconfig 'open indexes'
```

オープン インデックスの数を設定するには、次のコマンドを実行します。

sp_configure 'number of open indexes'

SAP Sybase ASE ロック パフォーマンス

すべてのプロセスやオブジェクトによって保持されたロック、デッドロック、および要求されたロックに関する情報を監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2029 | SAPSybaseASE_AvgLocksByProcessCnt: 高、SAPSybaseASE_AvgLocksByProcessCnt: 正常域 | プロセス 1 つあたりの平均ロック数 (S029_AvgLksByProcCnt) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2053 | SAPSybaseASE_UsrLocksInUsePct: 高、SAPSybaseASE_UsrLocksInUsePct: 正常域 | 使用中のロック (アクティブ ユーザロック) の割合 (S053_LocksUserPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2057 | SAPSybaseASE_DeadLockCnt: 低、SAPSybaseASE_DeadLockCnt: 正常域 | デッドロックの数 (S057_DeadlockCnt) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE メモリ パフォーマンス

このアスペクトは、SAP Sybase ASE サーバのメモリ、すなわちスピンロック競合、バッファ、キャッシュフラッシュなどを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2037 | SAPSybaseASE_LargeIOUtilizationPct: 低、SAPSybaseASE_LargeIOUtilizationPct: 正常域 | サーバ全体の大容量 I/O の利用率 (有効性) の割合 (S037_LrgelOUtilPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2038 | SAPSybaseASE_ APFDeniedPercentage: 高、 SAPSybaseASE_ APFDeniedPercentage: 正常域 | サーバの拒否された非同期プリフェッチ (APF) の割合 (S038_ APFDeniedPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2073 | SAPSybaseASE_ SpinLockContentionPct: 高、 SAPSybaseASE_ SpinLockContentionPct: 正常域 | サーバ全体のキャッシュごとのスピンロック競合率 (S073_ SpinLockContPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2074 | SAPSybaseASE_ BuffGrabbedDirtyPct: 高、 SAPSybaseASE_ BuffGrabbedDirtyPct: 正常域 | キャッシュおよびプールごとのダーティ状態で取り込まれたバッファの割合 (S074_ BuffGrabDrtyPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2076 | SAPSybaseASE_ CacheHitMissesPercentage: 高、 SAPSybaseASE_ CacheHitMissesPercentage: 正常域 | データ キャッシュミスの割合 (S076_ CacheHitMissPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2080 | SAPSybaseASE_ BuffInWashAlreadyInIoPct: 高、 SAPSybaseASE_ BuffInWashAlreadyInIoPct: 正常域 | I/O ですでにウォッシュ中のバッファの割合 (S080_ BferWashInIoPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2081 | SAPSybaseASE_ DirtyBuffWashedPct: 高、 SAPSybaseASE_ DirtyBuffWashedPct: 正常域 | 1 つまたは複数のデータ キャッシュのダーティ状態でウォッシュされたバッファの割合 (S081_ BferWashDrtyP | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--------|--|----------|
| | | | ct)を監視します。 | |
| Sybase | SAPSybaseASE_2237 | なし | 特定のデータ キャッシュの大容量 I/O の使用率 (有効性) の割合 (S237_LrgelOUtilPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2273 | なし | 特定のデータ キャッシュのキャッシュごととのスピロック競合率 (2273_SpinLockContPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2274 | なし | 特定のキャッシュ/プールの組み合わせのダーティ状態で取り込まれたバッファの割合 (S274_BuffGrabDrtyPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2276 | なし | 特定のデータ キャッシュのキャッシュミスの割合 (S276_CacheHitMissPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2280 | なし | I/O ですすでにウォッシュ中のバッファの割合 (S280_BferWashInIOPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--------|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2281 | なし | 特定のキャッシュのダーティ状態でウォッシュされたバッファの割合 (S281_BferWashDrtyPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE ネットワーク パケット

送信および受信 パッケージ サイズなどのネットワーク動作を監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2044 | SAPSybaseASE_AvgNWPckSizeSxInBytes: 高、SAPSybaseASE_AvgNWPckSizeSxInBytes: 正常域 | 平均送信ネットワーク パケット サイズ (S044_AvgPackSizeSnt) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2045 | SAPSybaseASE_AvgNWPckSizeRxInBytes: 高、SAPSybaseASE_AvgNWPckSizeRxInBytes: 正常域 | 平均受信ネットワーク パケット サイズ (S045_AvgPackSizeRcvd) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE オブジェクト パフォーマンス

オブジェクトに関する統計、すなわちオープン データベース数、使用およびブロックされたオブジェクトの数などを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---------------------------------------|-----------------------|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2014 | SAPSybaseASE_RemainingOpenedDBCnt: 低、 | 残りオープン データベース数 (S014_ | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| | | SAPSybaseASE_RemainingOpenedDBCnt: 正常域 | OpenDbRemCnt) を監視します。 | |
| Sybase | SAPSybaseASE_2049 | SAPSybaseASE_BlckdObjCnt: 高、SAPSybaseASE_BlckdObjCnt: 正常域 | ブロックされたオブジェクトの数 (S049_BlockedObjNum) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2054 | SAPSybaseASE_OpenObjInUsePct: 高、SAPSybaseASE_OpenObjInUsePct: 正常域 | 使用中または使用可能なオープンオブジェクトの割合 (S054_OpnObjectsUsdPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE 並列処理

並列処理の実行を監視します。パラレルクエリ率、ワーカプロセスが実行時に調整された回数などを報告します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2064 | SAPSybaseASE_WorkerProcReqRate: 高、SAPSybaseASE_WorkerProcReqRate: 正常域 | ワーカプロセス要求数/秒 (S064_WorkrProcesRate) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2065 | SAPSybaseASE_ParallelQueriesRate: 高、SAPSybaseASE_ParallelQueriesRate: 正常域 | 1秒あたりのパラレルクエリ数 (S065_ParallelQryRate) を監視します。 | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2066 | SAPSybaseASE_ESPRequestRate: 高、 SAPSybaseASE_ESPRequestRate: 正常域 | 1 秒あたりの拡張ストア プロシージャ (ESP) 要求数 (S066_ESQRequestRate) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2067 | SAPSybaseASE_WorkerProcReqDeniedPct: 高、 SAPSybaseASE_WorkerProcReqDeniedPct: 正常域 | 拒否されたワーカ プロセス要求の割合 (S067_WrkrPrcRqDenPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2068 | SAPSybaseASE_WorkerProcMemReqFailedPct: 高、 SAPSybaseASE_WorkerProcMemReqFailedPct: 正常域 | 失敗したワーカ プロセスメモリ要求の割合 (S068_WrkrMmRqFailPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2069 | SAPSybaseASE_ParallelQueryRuntimeAdjustPct: 高、 SAPSybaseASE_ParallelQueryRuntimeAdjustPct: 正常域 | パラレルクエリの実行時調整の割合 (S069_PQRunTAdjustPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE プロセス動作

ブロックされたプロセス、コミットされたトランザクションなどのプロセス動作を監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2039 | SAPSybaseASE_FullUsrLogCacheFlushesPct: 高、 SAPSybaseASE_FullUsrLogCacheFlushesPct: 正常域 | ユーザログ キャッシュ (ULC) がいっぱいになったために発生した ULC フラッシュの | 測定値しきい値 |

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| | | | 割合 (S039_FullULCFlushPct) を監視します。 | |
| Sybase | SAPSybaseASE_2055 | SAPSybaseASE_BlckdPrCsCnt: 高、 SAPSybaseASE_BlckdPrCsCnt: 正常域 | ブロックされたプロセスの数 (S055_BlockdProcesses) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2062 | SAPSybaseASE_LogSemaphoresWaitPct: 高、 SAPSybaseASE_LogSemaphoresWaitPct: 正常域 | トランザクション ログ セマフォの待機されているログ セマフォの割合 (S062_LogSemaWaitPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2079 | SAPSybaseASE_CommitTransCnt: 高、 SAPSybaseASE_CommitTransCnt: 正常域 | コミットされたトランザクションの数 (S079_CommXactsCnt) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2256 | なし | ブロックされたプロセスとそれをブロックしているプロセス (S256_VictimBlocker) を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE クエリパフォーマンス

SQL クエリパフォーマンスおよびカウントを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|--|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2027 | SAPSybaseASE_ActiveCursorsCount: 高、 SAPSybaseASE_ActiveCursorsCount: 正常域 | アクティブ カーソルの数 (S027_ActivCursorsCnt)を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2043 | SAPSybaseASE_HeavySqlStatementsCnt: 高、 SAPSybaseASE_HeavySqlStatementsCnt: 正常域 | 高負荷な SQL 文の数 (S043_HeavySQLNum)を監視します。 | 測定値しきい値 |

SAP Sybase ASE ユーザ定義アスペクト

SAP Sybase ASE のユーザ定義アスペクトを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|--------|---|------------|
| Sybase | SAPSybaseASE_UDM | なし | SAP Sybase ASE MP ユーザ定義メトリックを作成するための構文。 | ConfigFile |
| Sybase | SAPSybaseASE_27XX | なし | UDM 監視メトリック 27XX | 測定値しきい値 |

SAP Sybase Replication Server ベース

SAP Sybase Replication Server の監視の基本アスペクトです。構成、スケジューラ、メッセージ、およびロガーポリシーを含みます。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------------------|--------|---|--------------------|
| Sybase | SAPSybaseASE_RepConfiguration | なし | ユーザ構成を更新する SAP Sybase Replication Server 構成ポリシー。 | ConfigFile |
| Sybase | SAPSybaseASE_VeryHigh | なし | SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを Very High スケジュールごとに行います | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_High | なし | SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを High スケジュールごとに行います | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Medium | なし | SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを Medium スケジュールごとに行います | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Low | なし | SAPSybaseASE MP コレクタ/アナライザを Low スケジュールごとに行います | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Logger | なし | SAP Sybase ASE ログのデータフィード (5 分ごと) | スケジュールされたタスク |
| Sybase | SAPSybaseASE_Messages | なし | SAPSybaseASE MP プログラムによって送信されたメッセージを受信します。 | オープンメッセージ インターフェイス |

SAP Sybase Replication Server 可用性

Replication Server の動作、すなわちスレッド ステータスや、Replication Server を使用するように設定されたすべてのデータベースで使用されるセグメントなどを監視します。

| CI タイプ | ポリシー テンプレート | インジケータ | 説明 | ポリシー タイプ |
|--------|-------------------|---|---|----------|
| Sybase | SAPSybaseASE_2285 | SAPRepServer_ThreadStatus: 停止、 SAPRepServer_ThreadStatus: 稼働 | Replication Server のスレッド ステータス (S285_RepThreadStatus) を監視します。 | 測定値しきい値 |
| Sybase | SAPSybaseASE_2286 | SAPRepServer_SegmentUsedPct: 高、 SAPRepServer_SegmentUsedPct: 正常域 | Replication Server のパーティション上の使用中セグメントの割合 (S286_RepSegUsedPct) を監視します。 | 測定値しきい値 |

パラメータ

パラメータは、SAP Sybase ASE 管理テンプレート、アスペクト、SAP Sybase ASE アスペクト、およびポリシーテンプレートに不可欠なコンポーネントとなる変数です。各パラメータは 1 つの変数に対応します。パラメータには、SAP Sybase ASE サーバの各種コンポーネントを監視するために使用するデフォルト値が含まれます。また、監視要件に合うように変数の値を変更することもできます。

パラメータのタイプ

パラメータは、以下のとおりグループ化されます。

- **インスタンスパラメータ** - これらのパラメータは、SAP Sybase ASE CI の監視に不可欠です。たとえば、[SAP Sybase ASE サーバCI 名] はインスタンスパラメータです。
- **必須パラメータ** - これらのパラメータには、ポリシーテンプレートに必要な情報が含まれます。たとえば、[SAP Sybase ASE パスワード] は必須パラメータです。
- **従属パラメータ** - 必須パラメータのサブセットとなるパラメータがいくつかあります。このようなパラメータを従属パラメータと呼びます。たとえば、[頻度] と [しきい値] は [SAP Sybase ASE インスタンス名] の従属パラメータです。
- **エキスパートパラメータ** - これらのパラメータは、領域専門家 (SME) や管理者が使用できます。

SAP Sybase ASE パラメータ



OMi MP for SAP Sybase ASE には以下のパラメータが含まれています。

| パラメータ | パラメータタイプ | 説明 | デフォルト値 |
|----------------------------|-----------|--|--------|
| SAP Sybase ASE インスタンス名 | インスタンス | 監視すべき SAP Sybase ASE インスタンス名。 | CI 名 |
| SAP Sybase ASE インスタンスユーザ名 | 従属/必須 | データの収集に必要な権限を持つ SAP Sybase ASE サーバユーザ名。 | |
| SAP Sybase ASE インスタンスパスワード | 従属/必須 | SAP Sybase ASE サーバユーザ名のパスワード。 | |
| フィルタ | エキスパート/従属 | 監視対象コンポーネントをフィルタリングします。たとえば、[SAP Sybase ASE サーバセグメントフィルタ] パラメータで監視するセグメントをフィルタリングできます。 | |

| パラメータ | パラメータ タイプ | 説明 | デフォルト値 |
|-----------------------------|-----------|---|--------|
| SAP Sybase ASE インスタンスコレクション | エキスパート/従属 | SAP Sybase ASE サーバインスタンスのコレクションをオンまたはオフにします。 | オン |
| SAP Sybase ASE インスタンストレース | エキスパート/従属 | ノードでトレースを取得して %ovdatadir%/dbspi/log/trace にトレースするかどうかを切り替えられます。 | オフ |
| Very High スケジューラの頻度 | エキスパート | 極めて短い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (分)。 | 5 |
| High スケジューラの頻度 | エキスパート | 短い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (分)。 | 15 |
| Medium スケジューラの頻度 | エキスパート | 中程度の間隔で実行されるスケジューラの頻度 (時間)。 | 1 |
| Low スケジューラの頻度 | エキスパート | 長い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (時間)。 | 24 |
| 頻度 | 従属 | <p>ポリシー テンプレートによる監視の頻度。SAP Sybase ASE サーバの可用性を監視する頻度など。</p> <p>注: 頻度 パラメータの値が NORUN に設定されている場合、その特定のポリシー テンプレート、管理 テンプレート、またはアスペクトは、頻度の値が NORUN に設定されている間は監視されません。</p> | |
| しきい値 | 従属 | ポリシー テンプレートのしきい値。使用可能なデータベースノードを監視するしきい値など。 | |
| 重大度 | 従属 | ポリシー テンプレートの重大度レベル。クリティカルなデータベースのノード カウントを監視する重要度など。 | |

パラメータの調整

CI にデプロイ済みの SAP Sybase ASE 管理テンプレートまたはアスペクトのパラメータは編集が可能です。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。
 BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整] をクリックします。
 OMi では、[管理] > [監視] > [割り当ておよび調整] をクリックします。
2. [ビューの参照] タブで、パラメータをチューニングする CI を含む **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。または、[検索] タブを使用して CI を検索できます。
3. SAP Sybase ASE サーバCI のリストで、CI を選択します。[割り当て] ペインに、SAP Sybase ASE サーバCI に対する既存のアスペクトの割り当ての詳細が表示されます。
4. 以下の方法を使用してパラメータのデフォルト値を変更できます。
 - [割り当て] ペインで、次の手順を実行します。
 - i. 調整するパラメータのアスペクトを選択し、 をクリックします。[割り当てを調整] ペインに、現在のパラメータ値が表示されます。
 - ii. 調整するパラメータを選択し、 をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
 - [割り当ての詳細] ペインで、次の手順を実行します。
 - i. リストのパラメータをダブルクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
5. 値を変更して、[OK] をクリックします。新しいパラメータ値が関連する CI にデプロイされます。

構成アイテム (CI) と構成アイテムタイプ (CIT)

CI は、IT サービスを提供する上で、管理が必要なコンポーネントを指します。CI には、IT サービス、ハードウェア、ソフトウェアなどが含まれます。CIT は、CI のタイプと属性を示します。環境内で検出された SAP Sybase ASE CI は、CIT ごとに分類されます。

OMi MP for SAP Sybase ASE には、以下の CIT が含まれます。

- Computer
- Sybase

ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー

ビューでは、関心のある領域に関連する SAP Sybase ASE CIT から成る、CI モデル全体のサブセットを作成し、表示することができます。

RTSM ビューにアクセスする方法

1. [モデリング スタジオ] ペインを開きます。

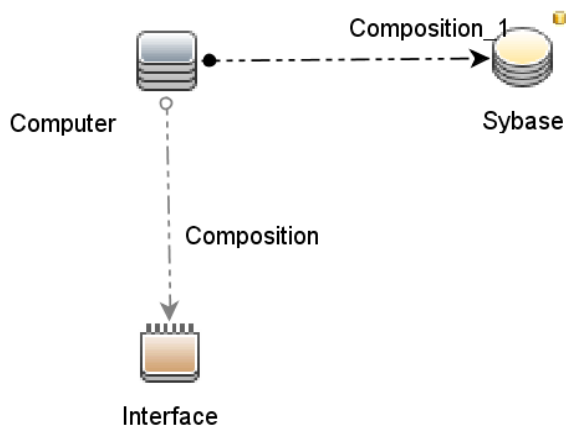
BSM では、[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [モデリング スタジオ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [モデリング スタジオ] > [リソース] をクリックします。

2. ビューで [リソース タイプ] をクリックします。
3. リストから [Operations Management] > [Databases] をクリックします。
4. リソースをダブルクリックするかドラッグしてモデリング キャンバスにドロップします。

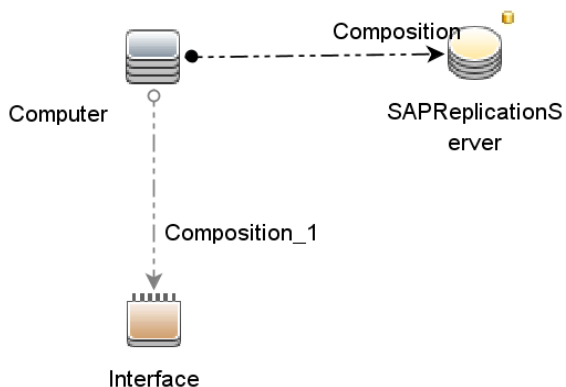
OMi MP for SAP Sybase ASE では、デフォルトで次のビューが提供されています。

- **SAPSybaseASE_Deployment:** このビューは、Sybase、Interface、および Computer CI タイプを参照します。次の図は上記の CI タイプの関係を示します。



- **SAPSybaseReplicationServer_Deployment:** このビューは、Sybase (SAP Sybase Replication Server)、Interface、および Computer CI タイプを参照します。次の図は上記の CI タイプの関係を示

します。



状況インジケータ (HI)

状況インジケータ (HI) とは、OMi MP for SAP Sybase ASE CI で発生したイベントを分析し、OMi MP for SAP Sybase ASE CI の状況を報告する機能です。SAP Sybase ASE MP では、OMi MP for SAP Sybase ASE 関連イベントの監視に次の HI を使用できます。

HI にアクセスする方法

1. [インジケータ] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [インジケータ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [サービス状況] > [CI ステータスの計算] > [状況インジケータとイベント タイプインジケータ] をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、[InfrastructureElement] > [RunningSoftware] > [Database] > [Sybase] をクリックします。

| CI タイプ | HI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|--|----------------------------|---------------------|
| Sybase | SAP Sybase ASE Remaining Opened Database Count | 残りオープン データベース数を示します。 | 正常域/正常域、 低/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Data Cache Percentage | データ キャッシュの全メモリに対する割合を示します。 | 正常域/正常域、 低/注意域 |

| CI タイプ | HI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|---|------------------------------------|-------------------------|
| Sybase | SAP Sybase ASE Worker Process Memory Requests Failed Percentage | 失敗したワーカプロセスメモリ要求の割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE User Locks in Use Percentage | 使用中のユーザロックの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Worker Process Requests Denied Percentage | 拒否されたワーカプロセス要求の割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Blocked Objects Count | ブロックされたオブジェクトの数を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Database Server Connection | データベースサーバ接続を示します。 | 稼働/正常域、停止/危険域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Asynchronous Pre-Fetch (APF) Denied Percentage | サーバの拒否された非同期プリフェッチ (APF) の割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Mirror Devices Not Active | アクティブでないミラー デバイスの数を示します。 | 稼働/正常域、停止/重要警戒域 |
| Sybase | AP Sybase ASE Blocked Processes Count | ブロックされたプロセスの数を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Engines Offline Count | オフライン エンジンの数を示します。 | 稼働/正常域、停止/危険域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Dead Lock Count | デッドロックの数を示します。 | 正常域/正常域、低/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Server Engine CPU Utilization Percentage | サーバエンジンのCPU 使用率を示します。 | 正常域/正常域、注意域/注意域、危険域/危険域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Data Cache Misses Percentage | サーバのデータキャッシュミスの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |

イベント タイプ インジケータ (ETI)

ETI は、発生するイベントのタイプに基づいて分類されます。SAP Sybase ASE MP では、OMi Management Pack for SAP Sybase ASE 関連イベントの監視に次の ETI を使用できます。

ETI にアクセスする方法

1. [インジケータ] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [インジケータ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [サービス状況] > [CI ステータスの計算] > [状況インジケータとイベント タイプ インジケータ] をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、[InfrastructureElement] > [RunningSoftware] > [Database] > [Sybase] をクリックします。

| CI タイプ | ETI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|---|---|-----------------|
| Sybase | SAP Sybase ASE Logical Reads Rate | 1 秒あたりの論理読み取り回数を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Open Indexes Percentage | オープン インデックスの割合を示します。 | 正常域/正常域、低/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Input Output Percentage for Application or Login | 全 I/O に対する 1 つまたは複数のアプリケーションの I/O の割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Physical Reads Rate | 1 秒あたりの物理読み取り数を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Active Cursors Count | アクティブ カーソルの数を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Average Network Packet Size Sent In Bytes | 平均送信ネットワークパケットサイズ (バイト) を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Transaction Log Free Space Percentage | 1 つまたは複数のデータベースのトランザクション ログの空き領域の割合を示します。 | 低/正常域、低/重要警戒域 |

| CI タイプ | ETI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|---|---|-----------------|
| Sybase | SAP Sybase Replication Server Segment Used Percentage | 特定のディスクパーティションの使用セグメントの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Connections Per User Count | ユーザ 1 人あたりの平均接続数を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Worker Process Request Rate | 1 秒あたりのワーカプロセス要求の数を示します。 | 正常域/正常域、高/警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Low Priority Switches Percentage | 低優先度切り替えの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Cache Utilization Percentage | キャッシュの使用率を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Buffers in Wash Already in IO Percentage | 1 つまたは複数のデータキャッシュの I/O ですでにウォッシュ中のバッファの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Medium Priority Switches Percentage | 中優先度切り替えの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Completed Disk Input Output Percentage | 完了したディスク I/O の割合を示します。 | 正常域/正常域、低/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Full User Log Cache Flushes Percentage | いっぱいユーザログキャッシュ (ULC) のフラッシュの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Database Segment Free Space | データベースの 1 つまたは複数のセグメントの空き容量の割合を示します。 | 正常域/正常域、低/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Virtual Device Space Used | 仮想デバイスの使用中の領域の割合を示します。 | 正常域/正常域、低/重要警戒域 |

| CI タイプ | ETI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|---|---|--|
| Sybase | SAP Sybase ASE Cache Hit Misses Percentage | 1 つまたは複数のデータ キャッシュのデータ キャッシュ ミスの割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Disk Input Output Percentage | 特定のディスクによって実行された I/O の全体に対する割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Procedure Cache Percentage | ディスクからのプロシージャ キャッシュの割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Database Connection | データベースのステータスおよび接続チェックを示します。 | 稼働/正常域、 DownStatus/注意域、 停止/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Average Locks By Process Count | プロセス 1 つあたりの平均 ロック数を示します。 | 正常域/正常域、 高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Buffers Grabbed Dirty Percentage | 1 つまたは複数のキャッシュまたはプールのダーティ状態で取り込まれたバッファの割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Log Semaphores Wait Percentage | 待機されているログセマフォアの割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Users Connected Percentage | 接続ユーザ数の最大数に対する割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Extended Stored Procedure (ESP) Request Rate | 1 秒あたりの拡張ストアード プロシージャ (ESP) 要求の数を示します。 | 正常域/正常域、 高/警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Spin Lock Contention Percentage | サーバ全体のスピンロック競合の割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |

| CI タイプ | ETI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|---|--|---------------------|
| Sybase | SAP Sybase ASE Large Input Output Utilization Percentage | サーバ全体の大容量 I/O の有効性 (使用率) の割合を示します。 | 正常域/正常域、 低/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Non-Clustered Indexes Maintenance for Inserts or Updates | 挿入と更新に関するメンテナンスが必要な非クラスタ化インデックス (NCI) の平均数を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Parallel Query Runtime Adjustments Percentage | 実行時に調整されるワーカプロセス要求の割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Non-Clustered Indexes Maintenance for Deletes | 削除に関するメンテナンスが必要な非クラスタ化インデックス (NCI) の平均数を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Committed Transactions Count | コミットされたトランザクションの数を示します。 | 正常域/正常域、 高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Parallel Queries Rate | 1 秒あたりのパラレルクエリの数を示します。 | 正常域/正常域、 高/警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Heavy Sql Statements Count | 高負荷な SQL ステートメントの数を示します。 | 正常域/正常域、 高/注意域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Heap Inserts Percentage | ヒープ挿入の割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Large Input Output Denied Percentage | 拒否された大容量 I/O の割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Dirty Buffers Washed Percentage | 1 つまたは複数のデータキャッシュのダーティ状態でウォッシュされたバッファの割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Open Objects in Use Percentage | 使用中のオープンオブジェクトの使用可能なオブジェクトに対する割合を示します。 | 正常域/正常域、 高/重要警戒域 |

| CI タイプ | ETI | 説明 | 値/重要度 |
|--------|--|--|-----------------|
| Sybase | SAP Sybase ASE CPU Percentage for Application or Login | 全 CPU 使用に対する1つまたは複数のアプリケーションのCPU 使用率を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Data Server Process Status | データサーバで動作している重要なプロセスを示します。 | 稼働/正常域、停止/危険域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Average Network Packet Size Received in Bytes | 平均受信ネットワークパケットサイズ(バイト)を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE High Priority Switches Percentage | 高優先度切り替えの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/重要警戒域 |
| Sybase | SAP Sybase ASE Task Context Switch Percentage | タスクコンテキスト切り替えの割合を示します。 | 正常域/正常域、高/注意域 |

ツール

OMi はさまざまなツールを使用して、SAP Sybase ASE 環境を表示および監視します。ツールを使用することで、[Event Browser] のイベントのコンテキストでアクションを実行できます。

ツールのタイプ

ツールのタイプは次のとおりです。

- 実行可能ファイル: デプロイされた Operations Manager エージェントを介して、ホスト上でローカルに起動可能なネイティブコマンド。
- スクリプト: デプロイされた Operations Manager エージェントを介して、ホスト上で実行可能な各種スクリプト。
- URL: ブラウザで URL を開きます。たとえば、選択したイベントに関連する CI の Web ベースのツールをクロス起動するのに使用します。

ツールにアクセスする方法

1. [ツール] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [操作コンソール] > [ツール] をクリックします。

OMi では、[管理] > [操作コンソール] > [ツール] をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、次のとおり選択します。

- 運用ツールの場合は、[InfrastructureElement] > [RunningSoftware] > [Database] > [Sybase] をクリックします。
- 管理ツールの場合は、[InfrastructureElements] > [Node] > [Computer] をクリックします。

ツールカテゴリ

SAP Sybase ASE ツールは、次の2つのカテゴリにグループ化されます。

- SAP Sybase ASE Management Pack 管理ツール

| CI タイプ | ツール | 説明 |
|----------|---|--|
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack の監視を有効にする | SAP Sybase ASE Management Pack の収集と警告通知を有効にします。 |
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack のトレースを有効にする | SAP Sybase ASE Management Pack のトレースをオンにします。 |
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack のデータ キャプチャ ツール | エラーおよびログ情報を収集します。これらのデータは、SAP Sybase ASE Management Pack の問題のトラブルシューティングのために HP サポートに送信できます。 |
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack のトレースを無効にする | SAP Sybase ASE Management Pack のトレースをオフにします。 |
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack のエラー ファイルの表示 | SAP Sybase ASE Management Pack のエラー ファイルの内容を表示します。 |
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack の監視を無効にする | SAP Sybase ASE Management Pack の収集と警告通知を無効にします。 |
| Computer | SAP Sybase ASE Management Pack のデプロイメントの検証 | SAP Sybase ASE MP のデプロイされたファイル、バージョン、ポリシー数、デフォルト値のファイルを表示し、接続チェックを実施します。 |

- SAP Sybase ASE Management Pack 運用ツール

| CI タイプ | ツール名 | 説明 |
|--------|---|---|
| Sybase | SAP Sybase ASE アクティブ カーソル数 | SAP Sybase ASE のアクティブ カーソルの数を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 拒否された非同期プリフェッチ (APF) の割合 | SAP Sybase ASE の拒否された非同期プリフェッチ (APF) の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE プロセス 1 つあたりの平均ロック数 | SAP Sybase ASE のプロセス 1 つあたりの平均ロック数を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 平均受信 パケット サイズ | SAP Sybase ASE の平均受信ネットワーク パケット サイズ (バイト) を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 平均送信 パケット サイズ | 平均送信ネットワーク パケット サイズ (バイト) を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ブロックされたプロセス数 | ブロックされたプロセスの数を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ダーティ状態で取り込まれたバッファの割合 | 1 つまたは複数のキャッシュまたはプールのダーティ状態で取り込まれたバッファの割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ダーティ状態でウォッシュされたバッファの割合 | 1 つまたは複数のデータ キャッシュのダーティ状態でウォッシュされたバッファの割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE I/O でウォッシュ中のバッファの割合 | 1 つまたは複数のデータ キャッシュの I/O ですでにウォッシュ中のバッファの割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE キャッシュ ヒット ミスの割合 | 1 つまたは複数のデータ キャッシュのデータ キャッシュ ミスの割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE キャッシュ 使用率 | キャッシュの使用率を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE データベース接続とステータスのチェック | データベースのステータスおよび接続チェックを表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 接続ユーザ数の最大数に対する割合 | 接続ユーザ数の最大数に対する割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ユーザ 1 人あたりの接続数 | SAP Sybase ASE のユーザ 1 人あたりの平均接続数を表示します。 |

| CI タイプ | ツール名 | 説明 |
|--------|-----------------------------------|---|
| Sybase | SAP Sybase ASE データ キャッシュ ミスの割合 | データ キャッシュ ミスの割合 を表示 します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE データ キャッシュ の割合 | データ キャッシュ の全 メモリ に対する 割合 を表示 します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 空きセグメント領域の割合 | データベースの1つまたは複数のセグメントの空き容量の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 非アクティブなミラー デバイス数 | ミラーリングが有効になっているがアクティブでないデバイスを表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 拒否された大容量 I/O の割合 | 拒否された大容量 I/O の割合 を表示 します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE データベースのリスト | サーバのデータベースのリストを表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE テーブルのリスト | サーバのテーブルのリストを表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ログ サイズ 使用率 | サーバのログ サイズの詳細を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE メモリ使用率 | サーバのメモリ使用率を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ネットワーク通信 | サーバのネットワーク通信の詳細を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE オフライン エンジン数 | 設定値 max online engines とすべてのエンジンのステータスをチェックします。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 使用中 オープン オブジェクトの割合 | 使用中のオープン オブジェクトの使用可能なオブジェクトに対する割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE パラレルクエリの実行時調整の割合 | SAP Sybase ASE の実行時に調整されるワーカプロセス要求の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE プロシージャ キャッシュの割合 | ディスクからのプロシージャ キャッシュの割合 を表示 します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 物理リソース | サーバの物理リソース使用状況を表示します。 |

| CI タイプ | ツール名 | 説明 |
|--------|---|--|
| Sybase | SAP Sybase ASE サーバ接続 チェック | 管理対象ノードのすべての SAP Sybase ASE インスタンスの接続をチェックします。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE スピン ロック 競合の割合 | SAP Sybase ASE 全体のスピロック競合の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE SQL Server 管理 | サーバの一般管理設定の詳細を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE トランザク ション ログの使用領域の割 合 | 1 つまたは複数のデータベースのトランザク ション ログの空き領域の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ユーザ ロック の割合 | SAP Sybase ASE の使用中のユーザロック の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ブロックされ た側とブロックした側 | ブロックされたプロセスとそれをブロックしている プロセスを表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 使用中仮 想スペースの割合 | 仮想デバイスの使用中の領域の割合を表 示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE ワークプロ セスメモリ要求の失敗の割合 | 失敗したワークプロセスメモリ要求の割合を 表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase ASE 拒否された ワークプロセス要求の割合 | SAP Sybase ASE の拒否されたワークプロ セス要求の割合を表示します。 |
| Sybase | SAP Sybase Replication Server 接続 チェック | 管理対象ノードのすべての SAP Sybase Replication Server インスタンスの接続を チェックします。 |
| Sybase | SAP Sybase Replication Server スレッド ステータス | Replication Server スレッドのステータスを チェックします。 |

ツールを起動する方法

イベント レベルでツールを起動するには、次の手順を実行します。

1. [ツール] ペインを開きます。

BSM では、[アプリケーション] > [オペレーション管理] > [Event Perspective] > [View Explorer] > [ビューの参照] をクリックします。

OMi では、[ワークスペース] > [Event Perspective] > [View Explorer] > [ビューの参照] をクリックします。

2. ツールを実行するには、次のいずれかの方法を実行します。
 - a. **[ビューの参照]** ペインで、ビューを選択し、**[Event Browser]** でイベントを選択します。
すべての関連するツールが**[Actions]** ペインに表示されます。
 - b. **[Actions]** ペインで、**[CI]** または **[ノード]** ラジオ ボタンをクリックします。
 - c. 起動するツールを選択します。

または

- a. **[ビューの参照]** ペインで、ビューを選択し、イベントを選択します。
 - b. イベントを選択して右クリックし、**[起動]** > **[ツール]** > **[ツールを選択]** に移動します。
3. **[プレビュー ツール実行]** ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[ツールの実行]** をクリックして、選択したツールを起動します。

CI またはノード レベルでツールを起動するには、次の手順を実行します。

1. **[ツール]** ペインを開きます。

BSM では、**[アプリケーション]** > **[オペレーション管理]** > **[Event Perspective]** > **[View Explorer]** > **[ビューの参照]** をクリックします。

OMi では、**[ワークスペース]** > **[Event Perspective]** > **[View Explorer]** > **[ビューの参照]** をクリックします。

2. **[ビューの参照]** ペインで、CI またはノードを右クリックします。**[ツールの選択]** ページが開きます。
3. 起動するツールを選択し、**[ツールの実行]** をクリックします。

注: ツールの説明の詳細は、「**ツールカテゴリ**」を参照してください。

グラフ テンプレート

グラフはメトリックを図示したものです。OMi MP for SAP Sybase ASE には次のグラフがあります。

グラフ テンプレートにアクセスする方法

1. **[パフォーマンス グラフ マッピング]** ペインを開きます。

BSM では、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[操作コンソール]** をクリックします。

OMi では、**[管理]** > **[操作コンソール]** > **[パフォーマンス グラフ マッピング]** をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、[InfrastructureElement] > [RunningSoftware] > [Database]> [Sybase] を選択します。

| グラフ テンプレート | 説明 | メトリック名 | テーブル名 / クラス名 |
|---------------------------|--|---|---------------------------------|
| Cache | SAP Sybase ASE Management Pack のデータ キャッシュのメトリックを表示します。 | S031_DATACACHEPCT S032_PROCDRECACHEPCT S033_DATACACHMISSPCT S035_CACHEUTILZTNPCT S036_LRGEIODENIEDPCT | DBSPI_SYB_GRAPH:DBSPI_SYB_GRAPH |
| Disk Utilization | SAP Sybase ASE Management Pack のディスク使用率のメトリックを表示します。 | S016_SPACEDUSEDPCT S029_AVGLKSBYPROCCNT | DBSPI_SYB_GRAPH:DBSPI_SYB_GRAPH |
| Parallel Server and Query | SAP Sybase ASE Management Pack の並列サーバおよびクエリのメトリックを表示します。 | S064_WORKRPROCESRATE S065_PARALLELQRYRATE S066_ESQREQUESTRATE S067_WRKRPRCRQDENPCT S068_WRKRMMRQFAILPCT S069_PQRUNTADJUSTPCT | DBSPI_SYB_GRAPH:DBSPI_SYB_GRAPH |
| Memory Statistics | SAP Sybase ASE Management Pack のメモリ統計のメトリックを表示します。 | S037_LRGEIOUTILPCT S038_APFDENIEDPCT S039_FULLLULCFLUSHPCT S073_SPINLOCKCONTPCT S074_ | DBSPI_SYB_GRAPH:DBSPI_SYB_GRAPH |


| グラフ テンプレート | 説明 | メトリック名 | テーブル名/クラス名 |
|---------------------------------|--|---|-----------------------------------|
| | | BUFFGRABDRTPCT S075_ COMPLTEDSKIOPCT S076_ CACHEHITMISSPCT S080_ BFERWASHINIOPCT S081_ BFERWASHDRTPCT | |
| Disk Index | SAP Sybase ASE Management Pack の ディスク インデックスの メトリックを表示しま す。 | S015_OPENINDEXPCT S070_HEAPINSERTPCT S071_ NCIXREQMNTIUPCT S072_ NCIXREQMNTDLPCT | DBSPI_SYB_ GRAPH:DBSPI_SYB_ GRAPH |
| CPU Utilization | SAP Sybase ASE Management Pack の CPU 使用率のメトリックを表示します。 | S001_UTILBYCPUPCT S003_ CONTXTSWITCHPCT | DBSPI_SYB_ GRAPH:DBSPI_SYB_ GRAPH |
| Process and Application Changes | SAP Sybase ASE Management Pack の プロセスおよびアプリケーションの変更のメトリックを表示します。 | S046_ HIGPRIOCHNGSPCT S047_ MEDPRIOCHNGSPCT S048_ LOWPRIOCHNGSPCT S050_CPUAPPLOGNPCT S051_IOAPPLOGNPCT | DBSPI_SYB_ GRAPH:DBSPI_SYB_ GRAPH |
| Database Status | SAP Sybase ASE Management Pack の データベース ステータスのメトリックを表示します。 | S004_ TRANSLOGFULLPCT S007_ CONNECTUSERSPCT | DBSPI_SYB_ GRAPH:DBSPI_SYB_ GRAPH |
| Server Status | SAP Sybase ASE Management Pack の | S027_ ACTIVCURSORCNT | DBSPI_SYB_ GRAPH:DBSPI_SYB_ |

| グラフ テンプレート | 説明 | メトリック名 | テーブル名/クラス名 |
|-----------------|---|--|---------------------------------|
| | 一般的なサーバのメトリックを表示します。 | S053_LOCKSUSERPCT S054_OPNOBJCTSUSDPCT S055_BLOCKDPROCESSES S057_DEADLOCKCNT S061_CONECTPERUSRCNT S062_LOGSEMAWAITPCT | GRAPH |
| Network Packets | SAP Sybase ASE Management Pack のネットワークパケットのメトリックを表示します。 | S044_AVGPACKSIZESNT S045_AVGPACKSIZERCVD | DBSPI_SYB_GRAPH:DBSPI_SYB_GRAPH |

グラフの表示方法

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフテンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

グラフを使用して SAP Sybase ASE CI のパフォーマンス パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理]/[操作コンソール] ペインを開きます。
BSM では、[アプリケーション] > [オペレーション管理] をクリックします。
OMi では、[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Performance Perspective] をクリックします。
[View Explorer] ペインが表示されます。
2. [ビューの参照] タブで **SAPSybaseASE_Deployment** ビューを選択します。[Performance] ペインに、**SAPSybaseASE_Deployment** ビューで使用できるデフォルトのグラフが表示されます。
3. [グラフ] タブで作成するグラフを選択し、 [グラフの作成] をクリックします。右ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

第5章: カスタマイズシナリオ

OMi MP for SAP Sybase ASE は、監視要件に合うようにカスタマイズできます。既存の SAP Sybase ASE 管理テンプレートを編集するか、新しい SAP Sybase ASE 管理テンプレートを作成して、あらゆるデータベース環境を監視できます。

デプロイ前の SAP Sybase ASE 管理テンプレートのカスタマイズ

環境内の SAP Sybase ASE サーバを最適かつシームレスに監視するために、OMi MP for SAP Sybase ASE をカスタマイズすることができます。OMi MP for SAP Sybase ASE では、以下のカスタマイズシナリオが利用できます。



- [SAP Sybase ASE 管理テンプレートの作成](#)
- [SAP Sybase ASE 管理テンプレートの編集](#)
- [ユーザ定義メトリック \(UDM\)](#)

SAP Sybase ASE 管理テンプレートの作成



1. [管理テンプレートおよびアспект] ペインを開きます。



BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。
[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE]
3. SAP Sybase ASE 構成フォルダを選択します。新しい構成フォルダを作成する必要がある場合は、 をクリックします。[構成フォルダの作成] が開きます。
4. 新しい構成フォルダの名前と説明を入力します。たとえば、新しい構成フォルダの名前を Test と入力します。
5. [OK] をクリックします。新しい構成フォルダが作成されます。
[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [テスト]
6. [管理テンプレートおよびアспект] ペインで、新しい構成フォルダを選択します。次に、 をクリック

し、**[管理テンプレート]**をクリックします。**[管理テンプレートの作成]** ウィザードが開きます。

7. **[一般]** ページで、新しい SAP Sybase ASE 管理テンプレートの名前を入力します。**[次へ]**をクリックします。
8. SAP Sybase ASE 管理テンプレートでは、SAP Sybase ASE 構成アイテムとそれに関連するすべての従属 CI を管理できます。トポロジ ビューとして、リストから **SAPSybaseASE_Deployment** を選択します。SAPSybaseASE_Deployment では、SAP Sybase ASE CI とそれに関連するすべての CI タイプが表示されます。
9. トポロジ マップのアイテムを選択し、この管理テンプレートで管理できる構成アイテムの**[CI タイプ]**を選択します。これは、管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプです。たとえば、**[Sybase]**を選択して SAP Sybase ASE サーバを監視できます。**[次へ]**をクリックします。
10. **[アспект]** タブで  をクリックします。続いて、 **[既存アспектの追加]** をクリックし、既存のアспектを新しい SAP Sybase ASE 管理テンプレートに追加します。**[既存アспектの追加]** ダイアログボックスが開きます。追加するアспектを選択し、**[OK]** をクリックします。


適切なアспектが存在しない場合は  をクリックします。続いて、 **[新規アспектの追加]** をクリックしてここからアспектを作成します。

11. アспектを追加する場合は、それぞれに**ターゲット CI**を1つ以上指定する必要があります。

リストのアспектを選択します。続いて、トポロジ マップで、この管理テンプレートを割り当てるときにアспектで監視する CI タイプをクリックします。(複数の CI タイプを選択するには、**[Ctrl]**を押します)ここで選択する各 CI タイプは、アспект内で割り当てた CI タイプの1つ(または、こうした CI タイプの子)と対応させる必要があります。たとえば、トポロジ マップから Sybase CI を選択できます。


12. **[パラメータ]** タブで、この管理テンプレートに追加したアспектにあるすべてのパラメータの一覧を参照できます。

パラメータを結合するには、以下の操作を行います。

- a. **[CTRL]**を押して、結合するパラメータをクリックします。
- b.  をクリックします。**[パラメータの編集/結合]** ダイアログボックスが開きます。
- c. 結合パラメータの**[名前]**を入力します。
- d. (オプション) **[説明]** および **[標準設定値]** を指定します。また、結合パラメータが**[読み取り専用]**、**[エキスパート設定]**、**[非表示]**のいずれかも指定します。特定のデフォルト値を指定できるほか、**[CI 属性から]** をクリックして CI 属性を参照することもできます。CI 属性を指定する場合、Operations Management はこの CI 属性の実際の値を使用して、基になるポリシーテンプレートのデプロイ時に自動的にパラメータ値を設定します。また、条件付きパラメータ値を変更することもできます。(条件は読み取り専用で、管理テンプレートレベルでは変更できません。)

[読み取り専用] にすることで、CI に管理テンプレートを割り当てる際にパラメータ値が変更されないようにできます。[非表示] にしても変更を防げますが、管理テンプレートの割り当て時やパラメータの調整中にはパラメータも見えなくなります。ユーザは割り当て時に、エキスパート設定を表示するかどうかを選択できます。

- e. **[OK]** をクリックします。

また、複数のパラメータを結合せずに編集し、アスペクトまたはポリシーテンプレートのデフォルト値を上書きすることもできます。パラメータを 1 つクリックし、 をクリックします。[パラメータの編集/結合] ダイアログボックスが開きます。

13. [管理テンプレートの作成] ウィザードで **[完了]** をクリックし、管理テンプレートを保存してからウィザードを閉じます。新しい管理テンプレートが、[管理テンプレートおよびアスペクト] ペインに表示されます。

SAP Sybase ASE 管理テンプレートの編集

SAP Sybase ASE 管理テンプレートを編集して、以下のコンポーネントを変更できます。

- [パラメータの編集](#)
- [アスペクトの編集](#)

パラメータの編集

事例: 現在、環境内のデータベース領域使用率を監視するため、基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートを使用しています。環境内の空きが少ない領域でのトランザクションログ空き領域を監視していますが、使用可能な空き領域をより詳しく観察するため、データベース領域使用率に対応するパラメータを変更したいと考えています。

環境内のデータベース領域使用率を詳しく監視するには、トランザクションログ空き領域パラメータ ([トランザクションログの空き領域割合の頻度]、[トランザクションログの空き領域割合のしきい値]、[トランザクションログの空き領域割合の重大度]) を変更する必要があります。


パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[管理テンプレートおよびアスペクト]** をクリックします。

OMi では、**[管理]** > **[監視]** > **[管理テンプレートおよびアスペクト]** をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。
[構成フォルダ] > **[データベース管理]** > **[SAP Sybase ASE]** > **[管理テンプレート]** > **[基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート]**

3. [管理テンプレートおよびアспект] ペインで、リストから **[基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート]** を選択し、 をクリックします。[管理テンプレートの編集] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[パラメータ]** タブをクリックします。パラメータのリストが表示されます。
5. **トランザクション ログ空き領域** のパラメータをダブルクリックします。[パラメータの編集/結合] ウィンドウが表示されます。
このインスタンスでは、トランザクション ログ空き領域 パラメータは、空きが少ない領域でのトランザクション ログ空き領域 頻度、空きが少ない領域でのトランザクション ログ空き領域 しきい値、または空きが少ない領域でのトランザクション ログ空き領域 重大度です。
6. ドロップダウン テキストを使用して、デフォルト 値を変更 できます。たとえば、空きが少ない領域でのトランザクション ログ空き領域 頻度のパラメータの値を [Medium] から [High] に変更 できます。
7. **[OK]** をクリックします。[管理テンプレートの編集] ダイアログ ボックスが開きます。
8. **[OK]** をクリックします。SAP Sybase ASE 管理テンプレートのバージョンが 1 つ増加 します。

注: SAP Sybase ASE 管理テンプレートのバージョン番号は、SAP Sybase ASE 管理テンプレートがカスタマイズされるたびに増加 します。

アспектの編集


事例: 現在、SAP Sybase ASE 環境内 データベース オブジェクトを監視 するため、基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレートを使用 しています。詳細 SAP Sybase ASE 管理テンプレートの一部であるアспектのうちいくつかを使用 するとします。


アспектを編集するには、以下の手順を実行 します。

1. [管理テンプレートおよびアспект] ペインを開 きます。

BSM では、次をクリック します。**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект]**

OMi では、**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект]** をクリック します。

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択 します。
[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [管理テンプレート] > [基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート]
3. [管理テンプレートおよびアспект] ペインで、リストから **[基本 SAP Sybase ASE 管理テンプレート]** を選択し、 をクリック します。[管理テンプレートの編集] ダイアログ ボックスが開 きます。
4. **[アспект]** タブをクリック します。アспектのリストが表示 されます。
5. **[レイアウト]** ペインで、Computer または Sybase CI を選択 します。

6. リストから追加するアスペクトを選択します。たとえば、**SAP Sybase ASE オブジェクト パフォーマンス** アスペクトを追加します。
7.  をクリックして選択したアスペクトを追加します。[SAP Sybase ASE オブジェクト パフォーマンス] アスペクトが **[選択したアスペクト]** リストに追加されます。
8. **[OK]** をクリックします。SAP Sybase ASE 管理テンプレートのバージョンが1つ増加します。

ユーザ定義メトリック (UDM)

ユーザ定義メトリック (UDM) を作成して、SAP Sybase ASE サーバから追加データを収集できます。OMi MP for SAP Sybase ASE を使用して、追加のメトリックを定義し、さらに SQL コードを利用してそれらのメトリックを収集するメカニズムを定義できます。新しく作成した UDM に測定のしきい値を関連付けることができます。UDM からレポートやグラフを作成できます。デフォルトでは、SAPSybaseASE_UDM は、SAP Sybase ASE ユーザ定義アスペクトの一部となっています。

SAP Sybase ASE ユーザ定義アスペクトには、以下のポリシーがあります。

- SAPSybaseASE_27XX - UDM 監視のための Measurement Threshold ポリシー
- SAPSybaseASE_UDM - UDM 作成のための設定ファイルポリシー テンプレート

ConfigFile ポリシーテンプレートの構文

OMi MP for SAP Sybase ASE には、UDM 設定ファイル (sybaseaseudm.cfg) が用意されています。SQL コードをテンプレートに追加し、新しいメトリックを定義し、そのメトリックデータを収集するためのメカニズムを定義することができます。

テンプレートは、次の構文を使用してメトリック名 およびメトリック データ収集メカニズムを定義します。

```
SYBASE
METRIC 27XX
COLLECT <OPTIONS> "<sqlcode>"
REPORT 1 "<sqlcode>"
METRIC 27YY
```

次のコードのスニペットは、SAP Sybase ASE メトリック 27XX を収集するためのメカニズムを定義します。

```
SYBASE
METRIC 27XX
COLLECT <OPTIONS> "<sqlcode>"
REPORT 1 "<sqlcode>"
```

ここでは、それぞれ次の意味があります。

- METRIC 27XX は新しく定義されるメトリックです (任意のメトリック名を入力できます)。
- COLLECT <OPTIONS> “<sqlcode>” は、管理対象のサーバードからメトリックデータを収集するメカニズムを定義する構文です。
 - <OPTIONS> は、収集したデータをログに記録して表現するためのメカニズムを指定します。
 - “<sqlcode>” は、データベースノードからメトリックデータを収集するための SQL で記述されたプログラミングコードです。これには直接のスタンドアロン SQL ステートメントを使用できます。
 - REPORT 1 “<sqlcode>” は、収集したメトリックデータからレポートを生成するためのメカニズムを定義する構文です。

OMi MP for SAP Sybase ASE は、SQL ユーティリティを使用して UDM データを収集してレポートします。

| データベース | メトリック収集ユーティリティ | メトリックレポート ユーティリティ |
|--------|----------------|-------------------|
| Sybase | Transact-SQL | isql |

このファイルで記述する SQL コードは、SAP Sybase ASE サーバ管理対象ノードでメトリックデータを収集するためにコレクタ/アナライザ/スクリプトによって使用されます。SQL コード内で、次のホスト変数を使用して、データ収集プロセスの効率を向上させることができます。

- :dbspi_error
- :dbspi_threshold
- :dbspi_value

タスク

ユーザ定義アスペクトの作成方法



ユーザ定義メトリックを作成するには、以下の手順に従います。

1. 新しいメトリックを定義するには、測定値しきい値テンプレート SAPSybaseASE_27XX のコピーを作成する必要があります。
 - a. [ポリシーテンプレート] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [ポリシーテンプレート] をクリックします。


OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。
 - b. [ポリシーテンプレート グループ] ペインで、以下のとおり選択します。

[タイプ別にグループ化されたテンプレート] > [測定値しきい値] をクリックします。
 - c. [ポリシーテンプレート] ペインで、[SAPSybaseASE_27XX] をクリックします。


- d. **SAPSybaseASE_27XX** ポリシーのコピーを作成するには、右クリックして、**[項目をコピー]** をクリックします。**[項目の貼り付け]** をクリックします。または、**[SAPSybaseASE_27XX]** を選択し、 **[項目をコピー]** をクリックして、 **[項目の貼り付け]** をクリックすることもできます。

- e. ポリシーの名前を **SAPSybaseASE_2700** に変更し、**[OK]** をクリックします。

注: SAPSybaseASE_27XX ポリシー名は、2700 ~ 2797 の範囲で任意の値に変更できません。

- f. パラメータ名、説明、および値を変更するには、次の手順を実行します。
- i. **[ポリシー テンプレート]** ペインで、**SAPSybaseASE_2700** ポリシー テンプレートを選択し、 をクリックします。

注: ポリシーは RAW モードで編集する必要があります。

- ii. **[ポリシー データ] > [ポリシー パラメータ]** をクリックします。
- iii. **[ポリシー パラメータ]** タブで、リストからパラメータを選択し、 をクリックします。**[パラメータの編集]** ダイアログ ボックスが開きます。
- iv. パラメータ名 (たとえば、**UDM 監視メトリック 27XX の重要度** を **UDM 監視メトリック 2700 の重要度** に変更します)、説明および値を編集します。
- v. **[OK]** をクリックします。ポリシー テンプレート SAPSybaseASE_2700 のバージョンが 0.1 増加します。
2. SPASybaseASE_UDM ポリシーで UDM メトリックを定義します。

- a. **[ポリシー テンプレート]** ペインを開きます。


BSM では、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [ポリシー テンプレート]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект]** をクリックします。

- b. **[ポリシー テンプレート グループ]** ペインで、以下のとおり選択します。

[タイプ別にグループ化されたテンプレート] > [ConfigFile テンプレート]





- c. **[ポリシー テンプレート]** ペインで、**SAPSybaseASE_UDM** ポリシーを選択します。

- d. **SAPSybaseASE_UDM** で、1.0 を選択し、 をクリックします。**[ポリシー テンプレートの編集 (RAW モード)]** をクリックします。

- e. **[ポリシー データ]** タブをクリックします。このタブには、ユーザ定義 メトリックの定義 やサンプル例などの詳細が含まれます。データを編集して、ポリシーを保存 できます。UDM ポリシーのバージョン番号は、0.1 つずつ増加します。
3. 新しい SAP Sybase ASE ユーザ定義 アスペクトを定義 するには、**SAPSybaseASE_2700** と最新バージョンの **SAPSybaseASE_UDM** ポリシーの両方を含めます。
 - a. 次の手順で [管理 テンプレート およびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート およびアスペクト]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [監視] > [管理 テンプレート およびアスペクト]** をクリックします。
 - b. **[構成フォルダ]** ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト]
 - c. **[管理 テンプレート およびアスペクト]** ペインで、**[SAP Sybase ASE ユーザ定義 アスペクト]** をクリックし、最新バージョンを選択して、 をクリックします。**[アスペクトの編集]** ダイアログボックスが開きます。
 - d. **[ポリシー テンプレート]** タブをクリックし、**SAP Sybase ASE_UDM** ポリシー テンプレート (ConfigFile ポリシー) を選択します。**[バージョン]** 列で、最新バージョンのポリシーを選択します。
 - e. SAPSybaseASE_27XX ポリシーを選択し、 をクリックして、汎用ポリシーを削除します。
 - f. ポリシーを追加するには、 **[ポリシー テンプレートの追加]** (BSM) および **[ポリシー テンプレートをリストから追加]** (OMi) をクリックします。**[SAP Sybase ASE ユーザ定義 アスペクト: アスペクトの編集]** ウィンドウが表示されます。ポリシーを選択し、**[OK]** をクリックします。
 - g. **[パラメータ]** タブで、**[CTRL]** を押して、**[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータのすべてのインスタンスを選択し、 をクリックします。**[OK]** をクリックします。
 - h. **[OK]** をクリックします。

SAP Sybase ASE ユーザ定義 アスペクトのデプロイ方法


UDM を監視するために新しいバージョンの SAP Sybase ASE ユーザ定義 アスペクトをデプロイする必要があります。

1. 次の手順で [管理 テンプレート およびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート およびアスペクト]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [監視] > [管理 テンプレート およびアスペクト]** をクリックします。
2. **[構成フォルダ]** ペインで、次を選択します。




[構成フォルダ] > [データベース管理] > [SAP Sybase ASE] > [アスペクト]

3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、**[SAP Sybase ASE ユーザ定義アスペクト]** をクリックし、最新バージョン 1.1 を選択して、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。



または、**[SAP Sybase ASE ユーザ定義アスペクト]** を右クリックし、**[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックして **[割り当てとデプロイ]** ウィザードを開きます。


4. **[構成アイテム]** タブでアスペクトをデプロイする **Sybase CI** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

注: アスペクトをノード CI にデプロイする場合は、**[タイプノードの CI も表示する]** チェックボックスを選択します。

5. **[必要なパラメータ]** タブで、次の手順を実行して必須パラメータを指定する必要があります。
 - a. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス名] ダイアログボックスが開きます。
 - b. 値を指定して、**[OK]** をクリックします。
 - c. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名]** パラメータを選択して、 をクリックします。[SAP Sybase ASE インスタンス ユーザ名] ダイアログボックスが開きます。
 - d. 値を指定して、**[OK]** をクリックします。
 - e. リストの **[SAP Sybase ASE インスタンス パスワード]** パラメータを選択し、 をクリックします。[SAP Sybase ASE パスワード] ダイアログボックスが開きます。
 - f. **[値]** をクリックし、**[パスワード]** フィールドに値を入力します。
 - g. **[パスワードの確認]** フィールドに同じパスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。
 - h. **[次へ]** をクリックして **[パラメータ サマリ]** に進みます。
6. (オプション) **[すべてのパラメータ]** タブ (BSM) および **[パラメータ サマリ]** タブ (OMi) では、パラメータのデフォルト値を変更できます。変更しない場合は、**[次へ]** をクリックします。

パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。

- a. **[SAP Sybase ASE インスタンス名]** パラメータを選択して  をクリックします。[インスタンスパラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
- b. リストでパラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。**[値]** をクリックして値を指定し、**[OK]** をクリックします。

注: [すべてのパラメータ]/[パラメータ サマリ] タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパート パラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパート パラメータを表示するには、 [エキスパート パラメータの表示] をクリックします。

- c. **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェック ボックス (BSM) または **[割り当ての有効化]** チェック ボックス (OMi) をオフにします。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

第6章: デプロイメント シナリオ

この項では、SAP Sybase ASE サーバを監視するための OMi MP for SAP Sybase ASE のデプロイについて説明します。

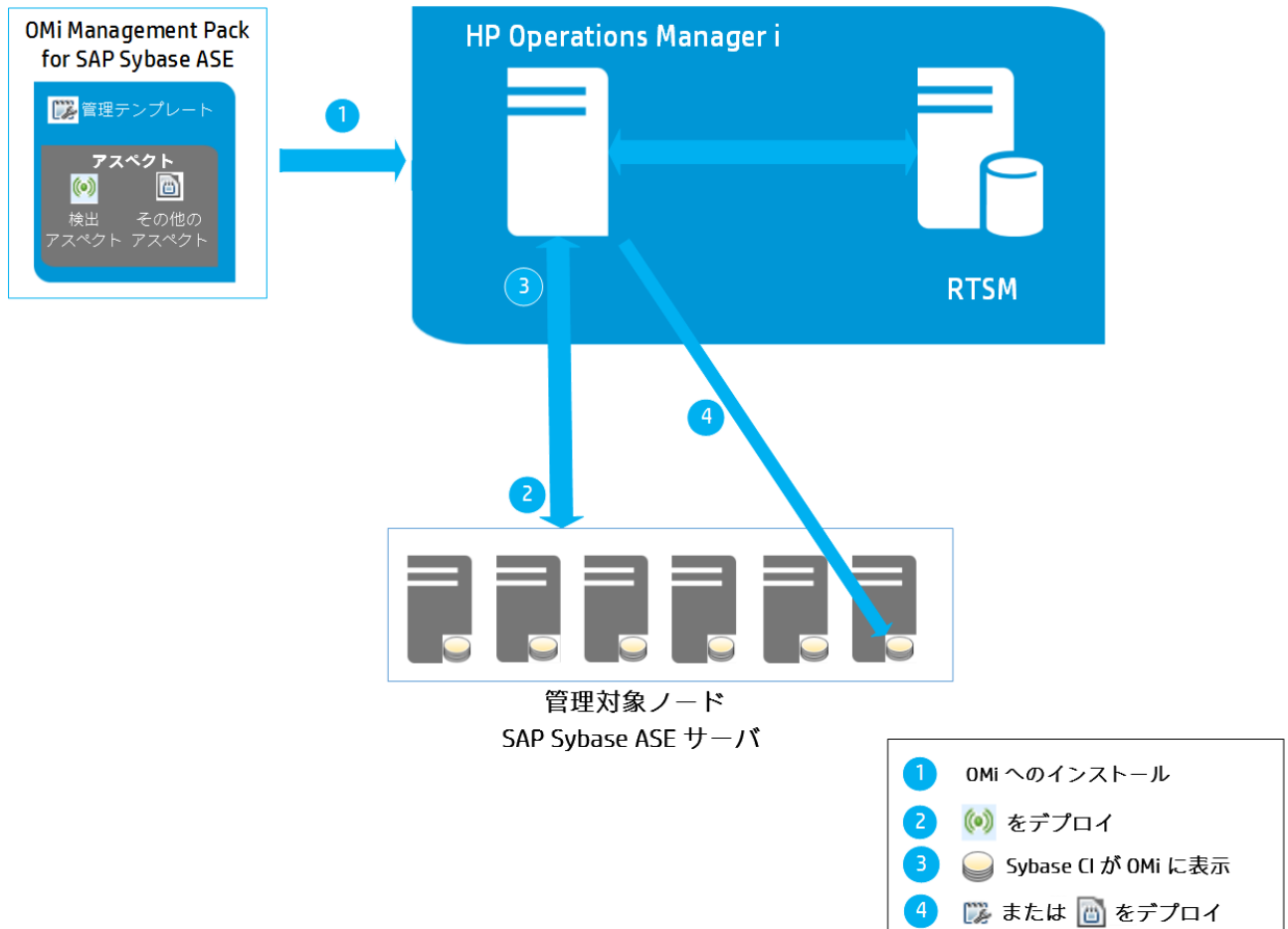
標準環境での SAP Sybase ASE サーバ

SAP Sybase ASE 標準環境は、管理サーバで管理されるスタンドアロン SAP Sybase ASE サーバで構成されます。標準環境に OMi MP for SAP Sybase ASE をデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 監視するノードを OMi コンソールに追加します。
2. SAP Sybase ASE サーバ CI と SAP Sybase Replication Server CI の両方を検出するための **SAP Sybase ASE 検出** アスペクトを管理対象ノードにデプロイします。
3. 監視要件に従って、SAP Sybase ASE 管理テンプレートを特定してデプロイします。

OMi MP for SAP Sybase ASE のデプロイの詳細は、「[BSM コンソールでの作業の開始](#)」または「[OMi コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

次の図は、OMi MP for SAP Sybase ASE を標準環境の SAP Sybase ASE サーバにデプロイする場合の典型的なデプロイメント シナリオを示しています。



レプリケーション サーバ環境での SAP Sybase

注: サードパーティのレプリケーション サーバを監視する場合は、OMi MP for SAP Sybase ASE でそれらを検出するための SAP Sybase ASE 検出アスペクトをデプロイする必要があります。

レプリケーション環境に OMi MP for SAP Sybase ASE をデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 監視するノードを OMi コンソールに追加します。
2. SAP Sybase ASE サーバ CI と SAP Sybase Replication Server CI の両方を検出するための **SAP Sybase ASE 検出** アスペクトを管理対象ノードにデプロイします。
3. データベースのレプリケーション用の SAP Sybase サーバを監視するための **SAP Sybase Replication Server 可用性** アスペクトをデプロイします。

第7章:トラブルシューティング

この項では、トラブルシューティングについて説明します。

ライセンス数が更新されない


問題: ライセンス管理でライセンス数が更新されません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. OMi MP for SAP Sybase ASE のインストール後、次の手順でライセンスが有効になっていることを確認します。
 - a. [ライセンス管理] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [ライセンス管理] をクリックします。

OMi では、[管理] > [セットアップと保守] > [ライセンス管理] をクリックします。

- b.  をクリックし、license.dat ファイルを選択します。ライセンスの詳細情報が [ライセンス管理] ウィンドウに表示されます。

ライセンス管理では、名前、ライセンスのタイプ、残り日数、有効期限、ライセンス数などの情報が表示されます。

2. 管理対象ノードでのライセンスの使用をチェックするには、管理対象ノードで以下のコマンドを実行します。

Windows の場合: `ovodetect -t`

UNIX の場合 (AIX を除く): `/opt/OV/bin/ovodetect -t`

AIX の場合: `/usr/lpp/OV/bin/ovodetect -t`

前のコマンドの出力が `mpinstance="1"` の場合、SAP Sybase ASE サーバは監視の対象になっています。前のコマンドの出力が `mpinstance="0"` の場合、SAP Sybase ASE サーバは監視の対象になっていません。

3. それでも [ライセンス管理] に反映されない場合は、次のコマンドを実行し、管理対象ノードでエージェントを再起動します。

Windows の場合: `ovc -restart opcmsga`

UNIX の場合 (AIX を除く): `/opt/OV/bin/ovc -restart opcmsga`

AIX の場合: `/usr/lpp/OV/bin/ovc -restart opcmsga`

管理テンプレートとアスペクトが管理対象ノードにデプロイされない

問題: 管理テンプレートとアスペクトが管理対象ノードにデプロイされません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. [デプロイメント ジョブ] ペインを開いて、デプロイメント ステータスを確認します。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [デプロイメント ジョブ] をクリックします。

OMi 10 では、[管理] > [監視] > [デプロイメント ジョブ] をクリックします。

2. [割り当ておよび調整] ペインを開いて、割り当てステータスを確認します。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

OMi 10 では、[管理] > [監視] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

3. 次の OMi ログファイルを確認します。

Linux の場合:

```
/opt/HP/BSM/log/EJBContainer/opr-webapp.log
```

```
/opt/HP/BSM/log/EJBContainer/opr-configserver.log
```

Windows の場合:

```
%topaz_home%\log\EJBContainer\opr-webapp.log
```

```
%topaz_home%\log\EJBContainer\opr-configserver.log
```

SAP Sybase ASE サーバの監視が、OMi MP for SAP Sybase ASE のデプロイの後に開始されない

のデプロイの後に開始されない

問題: SAP Sybase ASE サーバの監視がデプロイメントの後に開始されません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行し、**SAPSybaseASE_Configuration** ポリシーが管理対象ノードにデプロイされていることを確認します。

```
%OvInstalldir%\bin\ovpolicy -polname "SAPSybaseASE_Configuration" -poltype  
configfile -l
```

2. パラメータ値が変更されている場合は、以下の手順を実行して、ポリシー ID を確認します。
 - a. [ポリシー テンプレート] ペインを開きます。
 BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [ポリシー テンプレート] をクリックします。
 OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。
 - b. [ポリシー テンプレート グループ] ペインで、[ConfigFile テンプレート] をクリックします。
 - c. [ポリシー テンプレート] ペインで、**SAPSybaseASE_Configuration** ポリシー テンプレートをクリックします。
 - d. [詳細] ペインで、[ID] の値を確認します。
3. 管理対象ノードで下のフォルダの場所に移動し、**SAPSybaseASE_Configuration** ポリシー テンプレートの <policy id>_params.xml ファイルでパラメータ値が更新されているかどうかを確認します。
 Windows の場合: %OvDataDir%\datafiles\policies\configfiletmpl/
 UNIX の場合: /var/opt/OV/datafiles/policies/configfiletmpl/
4. 同様の手順を実行し、他のポリシーの設定およびデプロイメント パラメータが更新されているかどうかを確認します。
5. 次のコマンドを実行し、MPSybCfg.pl で設定の詳細が更新されていることを確認します。
 dbspisybcfg -e

Performance Manager i (PMi) グラフまたはレポートにデータが表示されない

問題 1: グラフまたはレポートを作成するための情報を OMi MP for SAP Sybase ASE から利用できません。

解決策 1: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行してグラフのデータソースが生成されているかどうかを確認します。
 ovcodautl -obj
 データソースのリストを表示し、DBSPI_SYB_GRAPH および DBSPI_SYB_REPORT データソースが作成されていることを確認します。
2. データソースが作成されていない場合、次のコマンドを実行して、データソースを作成します。
 dbspisybgre

3. データソースの作成に関連するエラーは、コマンド プロンプトのコンソールのログに記録されます。
4. グラフポリシーがノードにデプロイされ、ポリシー ログ データが次のファイルに格納されていることを確認します。

Windows の場合 : %OvDataDir%\conf\SAPSybaseASE\dsi\<instance>.dat

UNIX の場合 : /var/opt/OV/conf/SAPSybaseASE/dsi/<instance>.dat

問題 2: 古いノードを既に作成されている Operations Agent 11.x および PA DSI (データソース統合) データソースと共に再利用すると、データのログ記録に影響します。

解決策 2: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、古いデータをクリーンアップして削除します。

- a. 古いデータをクリーンアップします。

UNIX の場合 : /var/opt/OV/bin/instrumentation/dbspisyb_mwclup

Windows の場合 : %OvDataDir%\bin\instrumentation\dbspisybmwi-cleanup

- b. データソースを再起動するには、`ovc -restart coda` コマンドを実行します。

2. 空のファイルを作成します。

UNIX の場合 : /var/opt/OV/conf/dsi2ddf/nocoda.opt

Windows の場合 : %OvDataDir%\conf\dsi2ddf\nocoda.opt

3. 次のコマンドを実行して、新しい CODA データソースを作成し、PMi のデータをログ記録します。

`dbspisybgre`

問題 3: 管理対象ノードが Smart Plug-in for Sybase Database によって監視されている場合。

解決策 3: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. `DBSPI_SYB_<data sources>` のデータを HP Reporter または他の使用しているレポート ソリューションにバックアップすることができます。

例 : `gathercoda -h <Sybase_hostname>` コマンドを実行して HP Reporter 上でバックアップします。

2. HP Operations Smart Plug-in for Sybase を管理対象ノードからアンインストールします。

管理対象ノードからのアンインストールの詳細は、『HP Operations Smart Plug-in for Databases インストールおよび設定ガイド』を参照してください。

3. 次のコマンドを実行して、データソースを削除します。

Windows の場合: dbspimwi -cleanup

UNIX の場合: dbspi_mwclup

データ ログ ポリシーでデータをログ記録できない

問題: MP for SAP Sybase ASE サーバが、レポート データソースにデータをログ記録しません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行してレポートのデータソースが生成されているかどうかを確認します。

```
ovcodautl -obj
```

2. データソースが作成されていない場合、次のコマンドを実行して、データソースを作成します。

Windows の場合: dbspisybmwi -osm

UNIX の場合: dbspisyb_mw_int -osm

3. データソースの作成に関連するエラーは、コマンド プロンプトのコンソールのログに記録されます。
4. ノード上にレポート ポリシーがデプロイされていることを確認してください。レポート ポリシーは、レポートのデータを直接データソースに記録します。

デプロイの後にサーバのスケジュール メトリックを実行できない

問題: デプロイメントの後に SAP Sybase ASE サーバのスケジュール メトリックが実行されません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順を実行して、次の4つのポリシーが管理対象ノードにデプロイされていることを確認します。

- a. [ポリシー テンプレート] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [ポリシー テンプレート] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

- b. [ポリシー テンプレート グループ] ペインで、[スケジュール タスク テンプレート] をクリックします。

- c. **SAPSybaseASE_High**、**SAPSybaseASE_Low**、**SAPSybaseASE_Medium**、および **SAPSybaseASE_Veryhigh** がデプロイされているかどうかを確認します。

2. 次の場所に移動して、それぞれのポリシー ファイルが有効かどうかを確認します。
 - Windows の場合 : %OvDataDir%\conf\SAPSybaseASE\xml\
 - UNIX の場合 : /var/opt/OV/conf/SAPSybaseASE/xml/
3. スケジューラ XML ファイルがインストールメンテーション ファイル MPConfHandler.pl を使用して作成されます。

インストールメンテーション ファイルのフォルダは次の場所にあります。

- Windows の場合 : %OvDataDir%\bin\instrumentation\
 - UNIX の場合 : /var/opt/OV/bin/instrumentation/MPSybConfHandler.pl
4. **[SAP Sybase ASE Management Pack のトレースを有効にする]** ツールを実行して、トレースを有効にします。

ツールの起動の詳細は、「[ツール](#)」を参照してください。

5. トレースを有効にした後に、スケジューラ ログファイルが次のパスに作成されます。
 - Windows の場合 : %OvDataDir%\log\SAPSybaseASE\MPSybConfHandler.pl.log
 - UNIX の場合 : /var/opt/OV/log/SAPSybaseASE/MPSybConfHandler.pl.log
6. 特定のメトリックを監視しない場合は、メトリックの頻度 パラメータの値を「NORUN」に設定します。
パラメータ値の編集の詳細は、「[パラメータの調整](#)」を参照してください。

サーバ上で収集が失敗してもアラートが生成されない




問題: コレクタでエラーが発生しても、サーバ上でアラートが生成されません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次のいずれかの方法でトレースを有効にします。
 - a. [割り当ておよび調整] ペインで、次の手順を実行してトレースを有効にすることができます。
 - i. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

BSM では、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[割り当ておよび調整]** をクリックします。

OMi では、**[管理]** > **[監視]** > **[割り当ておよび調整]** をクリックします。
 - ii. **[ビューの参照]** タブで **SAPSybaseASE_Deployment** を選択します。問題のある CI を選択します。

- iii. [割り当て] ペインで、**[SAP Sybase ASE ベース]** アスペクトを選択します。
 - iv. [割り当ての詳細] ペインで、 をクリックして、エキスパート パラメータを表示します。
 - v. **[SAP Sybase ASE インスタンストレース]** パラメータをダブルクリックします。
[インスタンスパラメータの編集] ウィザードが開きます。
 - vi.  をクリックし、**[SAP Sybase ASE インスタンストレース]** パラメータを選択して、 を選択します。値を ON に変更して、**[OK]** をクリックします。
 - vii. **[OK]** をクリックします。
- b. [Event Browser] でノード上のすべてのインスタンスでトレースを有効にするには、次の手順を実行します。
- i. 次の手順で [Event Perspective] ペインを開きます。

BSM では、次をクリックします。[アプリケーション] > [オペレーション管理] > [Event Perspective]

OMi では、次をクリックします。[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Event Perspective]

- ii. **[View Explorer]** で、ビューを選択し、**[Event Browser]** からイベントを選択します。
[Actions] ペインでツールを表示できます。
- iii. **[SAP Sybase ASE Management Pack のトレースを有効にする]** ツールをダブルクリックします。[ツールの実行] ダイアログボックスが開きます。

注: オプションのパラメータは空白のままにします。

- iv. **[ツールの実行]** をクリックします。
2. 次の場所に移動し、ファイルがノードにデプロイされていることを確認します。
- Windows の場合: %OvDataDir%\bin\instrumentation
- UNIX の場合: /var/opt/OV/bin/instrumentation
3. dbspicas は、SAP Sybase ASE メトリックを取得するために使用されるコレクタです。
- a. コレクタの接続を確認するには、`dspicas -dpv` コマンドを実行します。
 - b. しきい値が制限を超えているかどうかを確認するには、`dspicas -pv -m <metric>` コマンドを実行します。
- メトリックの値は、コマンド コンソールに出力されます。

- しきい値を超えている場合は、次のコマンドを実行して警告を生成します。

```
dbspicas -m <metric> -i <Instance name>
```

-m = (メトリック) データを収集する対象のメトリックの数字または数字の範囲を指定します。

-i = (インスタンス) データベース インスタンスを指定します (オプション)。

- トレース用のインストールメンテーション ログファイルは以下の場所で使用できます。

Windows の場合: %OvDataDir%\log\SAPSybaseASE

UNIX の場合: /var/opt/OV/log/SAPSybaseASE

SAP Sybase Replication Server スレッド ステータス ツールのエラー

問題: SAP Sybase Replication Server スレッド ステータス ツールでエラーが発生します。ツールが次のエラーを生成します。

```
Msg 14125, Level 11, State 0:
```

```
Server 'SAMPLE_RS':
```

```
Application 'isql' is using character set 'utf8', but the Replication Server is using character set 'iso_1'.Because the character sets are different, character set conversion problems may occur.
```

解決策: 管理対象ノードにインストールされている SAP Sybase Replication Server または SAP Sybase ASE サーバを基にして、適切な LANG 設定がされていることを確認する必要があります。

この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

- 次のコマンドを実行して、エージェントの LANG 設定を変更します。

```
ovconfchg -ns ctrl.env -set LANG C
```

- 次のコマンドを実行して、管理対象ノードの上のエージェントを再起動します。

Windows の場合: ovc -restart opcmsga

UNIX の場合 (AIX を除く): /opt/OV/bin/ovc -restart opcmsga

AIX の場合: /usr/lpp/OV/bin/ovc -restart opcmsga

- 次のコマンドを実行して、LANG 設定をコンソールにエクスポートします。

```
export LANG=C
```

OMi MP for SAP Sybase ASE が 64 ビット 版の Sybase と連携しない

問題: OMi MP for SAP Sybase ASE が 64 ビット 版の Sybase と連携しない

解決策: OMi MP for SAP Sybase ASE を 64 ビット 版の Sybase と連携させるには、Open Client の 32 ビット バイナリを Sybase からインストールする必要があります。

この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. <platform> 用の Sybase 製品 Open Client/Server 製品バージョン<xx.y> を取得します。

ここでは、それぞれ次の意味があります。

<xx.y> は Sybase のバージョン (15.7 など) です。

<platform> は管理対象ノード プラットフォーム (HP-UX 11、Solaris、または AIX) です。

2. Open Client/Server 製品のインストール手順を使用して、32 ビット ライブラリをデフォルトのライブラリディレクトリにインストールします。通常は次のディレクトリです。

```
$SYBASE/$SYBASE_OCS/lib
```

たとえば、パスは /home/sybase/OCS-15_0/lib for Sybase 15.7 のようになります。

注: 32 ビット ライブラリは既にインストールされている 64 ビット バイナリと競合しません。これはファイル名が異なるためです (たとえば、libintl.a が 32 ビット バイナリで、libintl64.a が対応する 64 ビット バイナリ、libintl.sl が 32 ビット バイナリで、libintl64.sl が 64 ビット バイナリのようになります)。

付録: メトリックとデータソース

メトリックデータは、レポートおよびグラフの生成用の特定のデータソースにログ記録されます。

汎用データソース

汎用データソースでは、データベースインスタンス名用に instance name という名前の付いた列が予約されています。この列には、各インスタンスから収集したデータを区別する情報が含まれます。他の列はグラフ作成メトリックスを表します。すべてのグラフ作成メトリックの完全な一覧は、以下の場所の dbspisybg.fm に格納されています。

Windows の場合: %OvDataDir%\bin\instrumentation

UNIX の場合: /var/opt/OV/bin/instrumentation

グラフテンプレート

グラフはメトリックを図示したものです。グラフは **DBSPI_SYB_GRAPH** データソース/クラス名から生成されます。グラフの作成と表示の詳細は、Performance Graphing のマニュアルを参照してください。OMi MP for SAP Sybase ASE には SAP Sybase ASE サーバグラフファミリーが含まれ、SAP Sybase ASE Server CIT にマッピングされています。

グラフのメトリックの詳細は、「[グラフテンプレート](#)」を参照してください。

レポート

Web ベースのレポートは、各 SAP Sybase ASE サーバの動作状況と効率のチェックに役立ちます。レポートは **DBSPI_SYB_REPORT** データソース/クラス名から生成されます。レポートの表示とアクセスの詳細は、HP Service Health Reporter (SHR) のマニュアルを参照してください。

DBSPI_SYB_REPORT には、以下の列に関する情報が含まれています。

- インスタンス名
- 値 ID
- 値

メトリック

次の表に、アスペクトとメトリックおよびポリシーテンプレートに関する情報を示します。

メトリックのデータタイプ: Real 64

| アспект | ポリシー テンプレート/ 収集名 | メトリック | 収集間隔 |
|---------------------------------|---------------------|----------------------|-------|
| SAP Sybase ASE アプリケーション パフォーマンス | SAPSybaseASE_2046 | S046_HIGPRIOCHNGSPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2047 | S047_MEDPRIOCHNGSPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2048 | S048_LOWPRIOCHNGSPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2050 | S050_CPUAPPLOGNPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2051 | S051_IOAPPLOGNPCT | 5 分 |
| SAP Sybase ASE 可用性 | SAPSybaseASE_2007 | S007_CONNECTUSERSPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2012 | S012_ENGINESOFFCNT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2020 | S020_BKUPSRVRSTATUS | NORUN |
| | SAPSybaseASE_2061 | S061_CONECTPERUSRCNT | 5 分 |
| SAP Sybase ASE CPU 使用率 | SAPSybaseASE_2001 | S001_UTILBYCPUPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_2003 | S003_CONXTSWITCHPCT | 5 分 |
| SAP Sybase ASE キャッシュ パフォーマンス | SAPSybaseASE_2031 | S031_DATACACHEPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_2032 | S032_PROCDRECAHPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_2033 | S033_DATACACHMISSPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_2035 | S035_CACHEUTILZTNPCT | 15 分 |

| アспект | ポリシー テンプレート/ 収集名 | メトリック | 収集間隔 |
|---------------------------------------|-----------------------|--------------------------|------|
| | SAPSybaseASE_ 2036 | S036_LRGEIODENIEDPCT | 15 分 |
| SAP Sybase ASE データベース領域使 用率 | SAPSybaseASE_ 2004 | S004_TRANSLOGFULLPCT | 15 分 |
| SAP Sybase ASE デ バイス パフォーマンス | SAPSybaseASE_ 2016 | S016_SPACEDUSEDPCT | 1 時間 |
| | SAPSybaseASE_ 2017 | S017_ MIRRDEVNOACTCNT | 1 時間 |
| SAP Sybase ASE ディスク状 況 | SAPSybaseASE_ 2075 | S075_COMPLTEDSKIOPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2077 | S077_PHYSREADSRATE | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2078 | S078_LOGICREADSRATE | 15 分 |
| SAP Sybase ASE イ ンデックス パフォーマ ンス | SAPSybaseASE_ 2015 | S015_OPENINDEXPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2070 | S070_HEAPINSERTPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2071 | S071_NCIXREQMNTIUPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2072 | S072_ NCIXREQMNTDLPCT | 15 分 |
| SAP Sybase ASE ロック パフォーマンス | SAPSybaseASE_ 2029 | S029_ AVGLKSBYPROCCNT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2053 | S053_LOCKSUSERPCT | 5 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2057 | S057_DEADLOCKCNT | 5 分 |
| SAP Sybase ASE メ モリ パフォーマンス | SAPSybaseASE_ 2037 | S037_LRGEIOUTILPCT | 15 分 |

| アспект | ポリシー テンプレート/ 収集名 | メトリック | 収集間隔 |
|---------------------------------------|-----------------------|---------------------------|------|
| | SAPSybaseASE_ 2038 | S038_APFDENIEDPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2073 | S073_SPINLOCKCONTPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2074 | S074_ BUFFGRABDRTPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2076 | S076_CACHEHITMISSPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2080 | S080_BFERWASHINIOPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2081 | S081_ BFERWASHDRTPCT | 15 分 |
| SAP Sybase ASE ネットワーク パケット | SAPSybaseASE_ 2044 | S044_AVGPACKSIZESNT | 1 時間 |
| | SAPSybaseASE_ 2045 | S045_ AVGPACKSIZERCVD | 1 時間 |
| SAP Sybase ASE オ ブジェクト パフォーマ ンス | SAPSybaseASE_ 2014 | S014_OPENDBREMCNT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2049 | S049_BLOCKEDOBJNUM | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2054 | S054_ OPNOBJCTSUSDPCCT | 15 分 |

| アспект | ポリシー テンプレート/ 収集名 | メトリック | 収集間隔 |
|-------------------------------|-----------------------|--------------------------|-------|
| SAP Sybase ASE 並列処理 | SAPSybaseASE_ 2064 | S064_ WORKRPROCESRATE | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2065 | S065_PARALLELQRYRATE | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2066 | S066_ESQREQUESTRATE | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2067 | S067_ WRKRPRCRQDENPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2068 | S068_ WRKRMMRQFAILPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2069 | S069_ PQRUNTADJUSTPCT | 15 分 |
| SAP Sybase ASE プ ロセス動作 | SAPSybaseASE_ 2039 | S039_FULLLULCFLUSHPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2055 | S055_ BLOCKDPROCESSES | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2062 | S062_LOGSEMAWAITPCT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2079 | S079_COMMXACTSCNT | 15 分 |
| SAP Sybase ASE ク エリパフォーマンス | SAPSybaseASE_ 2027 | S027_ ACTIVCURSORSCNT | 15 分 |
| | SAPSybaseASE_ 2043 | S043_HEAVYSQLNUM | NORUN |

ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チーム](#)までご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on オンライン ヘルプの PDF 版 (OMi Management Pack for SAP Sybase ASE 1.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。